

Iwami Art Museum

平成23  
[2011]  
年度

# 年報

島根県立石見美術館

Annual Report April 2011- March 2012

## 目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
特別展	13
コレクション展	15
その他の展覧会	26
教育普及活動	27
ボランティア	30
連携事業	31
所蔵作品一覧	32
所蔵作品貸出実績	45
入館者数一覧・ミュージアムパスポート会員数一覧	47
収支概要	48
島根県芸術文化センター条例	49
島根県立石見美術館管理規則	54
施設概要	57
運営組織体制	60
利用案内	61

### 島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域に育まれてきた文化を大切にしながら、新しい芸術文化の創造をめざします。

#### 活動方針

- 1: 芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2: 芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3: 非日常空間の提供
- 4: 世界に目を向けた情報発信

#### 島根県立石見美術館

- 1: 幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2: 地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3: 美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4: 美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

#### 島根県立いわみ芸術劇場

- 1: 芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2: 優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3: 舞台芸術に関する研修機会を提供します。

## 展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期	
企画展	展示室D	ちひろ美術館コレクション 世界の絵本をめぐる旅	平成23年 4月16日～5月23日	
		スウィング・ロンドン50's-60's ビートルズとミニスカートに憧れた青春	平成23年 7月9日～9月12日	
		雪舟 花鳥を描くー花鳥図屏風の系譜ー	平成23年 10月22日～11月23日	
		「日本のわざと美」展ー重要無形文化財とそれを支える人々ー	平成23年12月17日～ 平成24年1月23日	
		mite! ね。しまねー島根県立美術館のコレクションを中心にー	平成24年 2月11日～3月26日	
特別展	展示室A	内藤廣の赤縞	平成23年 4月8日～6月6日	
	展示室B	速報 医光寺の仏像	平成23年 4月20日～6月20日	
コレクション展	展示室A	自然を描く	平成23年 6月9日～9月5日	
		豪華絢爛! 金屏風の世界	平成23年 9月7日～10月17日	
		雲谷派	平成23年 11月26日～12月11日	
		もっと見てね。日本画	平成24年 1月26日～3月20日	
	展示室B	彫りのワザを見る!	平成23年 6月24日～9月5日	
		ジョルジュ・バルビエ	平成23年 9月7日～10月24日	
		黒をまとう	平成23年 10月27日～12月5日	
		森鷗外に愛された画家 宮芳平	平成23年12月8日～ 平成24年2月6日	
		ラウル・デュフィ	平成24年 2月8日～4月2日	
	展示室C	生誕150年記念 森鷗外と交友の画家たち	平成23年 3月31日～6月26日	
		50年前の服	平成23年 6月30日～8月29日	
		没後100年 大下藤次郎の水彩画	平成23年 8月31日～10月17日	
		草間彌生	平成23年10月19日～ 平成24年2月2日	
	その他の展覧会	展示室D	(財)独立書人団島根県支部 第33回 益田ブロック書展	平成23年 6月16日～6月20日
			2011文化を育む in ますだ 第30回記念益田市美術展	平成23年 10月6日～10月10日
			第43回島根県総合美術展(県展)移動展	平成23年 12月1日～12月4日
全島根小中学校図画作品展 益田展			平成24年 2月2日～2月5日	

企画展 ちひろ美術館コレクション 世界の絵本をめぐる旅



ポスター



会場



来場者1万人達成

展覧会名：ちひろ美術館コレクション 世界の絵本をめぐる旅

会 期：平成23年4月16日(土)～5月23日(月)

休 館 日：毎週火曜日(ただし5月3日は開館)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円  
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円  
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

\* ( )内は20名以上の団体料金。

\*小中高生の学校利用は無料。

\*障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、ちひろ美術館、中国新聞社、山陰中央テレビ

内 容

世界初の絵本専門美術館、ちひろ美術館のコレクションから、世界23カ国、67人の絵本画家の作品95点を展示。絵本原画の魅力を紹介するとともに、通常目にする事の少ないアジア、東欧、南米等様々な国の優れたアーティストの作品に触れる機会にもなった。会期中はちひろ美術館の専門家によるレクチャーやワークショップの他、県内で活躍する絵本作家による紙芝居ライブや、島根県の国際交流員による各国の文化や絵本を紹介するトークイベントも実施した。出品画家の絵本が読めるコーナーを会場内に設けたことも好評であった。

また、当館とちひろ美術館の建築設計が同じく内藤廣氏であることにちなみ、ちひろ美術館の建築を紹介するコーナーを設けたほか、本展の会期にあわせて特別展「内藤廣の赤緋」を開催、内藤氏の講演会も実施した。※詳細は「特別展」(13ページ)に記載

新聞、雑誌掲載

中国新聞3月24日 展覧会告知記事

『さんいんキラリ』2011年春号 3月31日 川西 由里「世界の絵本画家たち、夢の競演！」

山陰中央新報4月2日 川西 由里 グラントワ通信「世界の絵本をめぐる旅」

中国新聞4月16日 開幕記事

山陰中央新報4月16日 開幕記事

中国新聞4月17日 講演会取材記事

中国新聞4月30日 作品紹介 川西 由里 エリック・カール「はらべこあおむし」

中国新聞5月1日 作品紹介 川西 由里 ビンバ・ランドマン「ジョットという名の少年」

中国新聞5月2日 作品紹介 川西 由里 クラウディア・レニヤッツィ「わたしの家」より

中国新聞5月3日 作品紹介 川西 由里 シビル・ウエッタシンハ「かさどろぼう」より

中国新聞5月4日 作品紹介 川西 由里 いわさきちひろ「うらしまたろう」より

中国新聞5月15日 トークイベント紹介記事

中国新聞5月21日 来場1万人達成記事

読売新聞5月21日 来場1万人達成記事

毎日新聞5月21日 来場1万人達成記事

山陰中央新報5月21日 来場1万人達成記事

中国新聞5月23日 ワークショップ取材記事

毎日新聞5月23日 ワークショップ取材記事

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4

子供のための鑑賞ガイド

(デザイン：すべてグラフィック・グループ・トゥエルヴ)

関連事業

記念講演会「日本の絵本のあゆみー絵因果経から『わたしのワンピース』まで」

講 師：竹迫 祐子(安曇野ちひろ美術館副館長)

日 時：4月16日(土)14:00～15:00



紙芝居ライブ

会 場：講義室  
聴 講 者：38名

### 紙芝居ライブ「よしととひうたのライブ・ペーパー・ストーリー」

絵本作家「よしと」と、シンガーソングライター「ひうた」による紙芝居ライブを上演。

出 演：よしととひうた  
日 時：4月29日(金)1回目11:00～、2回目14:00～  
会 場：美術館ロビー  
参 加 者：合計180名

### トークイベント「おしえて！あなたの国の絵本と文化」

島根県の国際交流員が故郷の文化を紹介するとともに、母国語での絵本の朗読も行った。

講 師：①ジェイン・レザー(イギリス)、徐 寅榮(韓国)  
②馬 遠(中国)、エカテリーナ・マリギナ(ロシア)  
日 時：①5月14日(土)、②5月15日(日) 両日とも14:00～15:00  
会 場：講義室  
聴 講 者：合計52名



ワークショップ

### ワークショップ「ちひろと世界の絵本画家の技法体験！」

①いわさきちひろの水彩技法体験、②エリック・カールの技法体験

いわさきちひろ、エリック・カール、それぞれが絵本制作で用いている「水彩のにじみ」、「コラージュ」の技法を体験した。

講 師：松方 路子(安曇野ちひろ美術館学芸員)  
日 時：5月22日(日)①10:00～12:00、②14:00～16:00  
会 場：講義室  
参 加 者：合計47名

### ギャラリートーク

講 師：①松方 路子(安曇野ちひろ美術館学芸員)、②当館学芸員、③朗読の会「風」と当館学芸員

日 時：①4月16日(土)11:00～、②4月24日(日)14:00～、③5月5日(木)14:00～  
会 場：展示室D



ギャラリートーク

### グラントワ tea ガーデン「なごみ茶」

日 時：5月7日(土)11:00～  
会 場：美術館ロビー  
参 加 者：100名

企画展 スウィングン・ロンドン 50's-60's ビートルズとミニスカートに憧れた青春



ポスター



会場



前室



スペシャル・ギャラリートーク

**展覧会名:** スウィングン・ロンドン50's-60's ビートルズとミニスカートに憧れた青春  
**会 期:** 平成23年7月9日(土)～9月12日(月)  
**休 館 日:** 毎週火曜日  
**観 覧 料:** 当日券 一般/1,000(400)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円  
 大学生/600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円  
 小中高生/300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円  
 前売券[企画・コレクション展セット]  
 一般/900円、大学生/500円、小中高生/200円  
 \*( )内は20名以上の団体料金。  
 \*小中高生の学校利用は無料。  
 \*障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。  
**主 催:** 島根県立石見美術館、日本海テレビ  
**後 援:** プリティッシュ・カウンシル  
**企画協力:** 株式会社ブレントラスト

内 容

「スウィングン・ロンドン」と呼ばれた1960年代のロンドンは、若者文化の発信地だった。本展では、1950年代から1960年代にかけてロンドンで、日常生活に取り入れられた各国のインダストリアル・デザインを紹介しこの時代を見つめ直すとともに、ファッションや音楽をベースとした若者文化をとりあげ、当時のライフスタイル全般を振り返った。

新聞、雑誌掲載

- 『結』7月号6月28日 展覧会紹介記事
- 毎日新聞7月9日 開幕記事
- 山陰中央新報7月9日 河野 克彦 グラントワ通信「若者文化や工業製品回顧」
- 中国新聞7月12日 展覧会紹介記事
- 山陰中央新報7月12日 展覧会紹介記事

印 刷 物

- 展覧会ポスター：B2
- 展覧会チラシ：A3二つ折り
- 割 引 券：ポストカードサイズ(3種類)
- 子供のための鑑賞ガイド：B 4三つ折り  
(デザイン：すべて松陽印刷所)

関連事業

**スペシャル・ギャラリートーク**  
**講 師:** 佐藤 秀彦(郡山市立美術館学芸課長)  
**日 時:** 7月9日(土)14:00～  
**会 場:** 展示室D

美術講座「1950-60年代のインダストリアル・デザイン」

**講 師:** 河野 克彦(当館主任学芸員)  
**日 時:** 7月24日(日)14:00～15:30  
**会 場:** 講義室  
**聴 講 者:** 12名

トークイベント「ジェイソン・レザーのリバプールにおいて！」

**講 師:** ジェイソン・レザー(国際交流員)  
**日 時:** 7月18日(月・祝)  
**会 場:** 美術館ロビー  
**参 加 者:** 100名

ワークショップ「あなたもわたしもツイッギー！」

**日 時:** 8月6日(土)、7日(日)各日13:00～16:30  
**会 場:** 講義室



ワークショップ

参加者：17名

### グラントワシアター & コンサート

日時：8月20日(土)10:00～ 映画「ノーウェアボーイ」(小ホール)  
 13:00～ ロビーコンサート(美術館ロビー)  
 14:00～ 映画「ノーウェアボーイ」(小ホール)  
 16:30～ NOW HERE コンサート(小ホール)

参加者：合計160名

### グラントワteaガーデン「英国茶」

日時：7月30日(土)11:00～  
 会場：美術館ロビー  
 参加者：100名



コンサート

### オリジナル「ピック・ストラップ」プレゼント

会期中の土・日・祝日に、先着30名にオリジナルのピック・ストラップをプレゼントした。



## 企画展 雪舟 花鳥を描く 花鳥図屏風の系譜



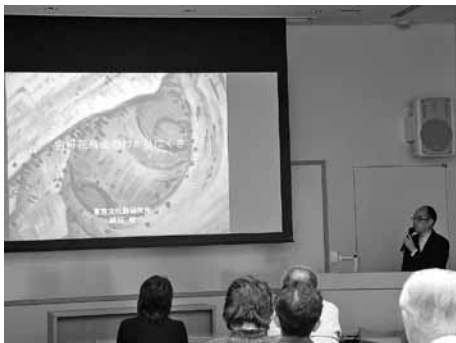
ポスター



会場



会場



講演会「雪舟花鳥画のわかりにくさ」

展覧会名：雪舟 花鳥を描く 花鳥図屏風の系譜

会 期：平成23年10月22日(土)～11月23日(水・祝)

休 館 日：会期中無休

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円  
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円  
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

\* ( )内は20名以上の団体料金。

\* 小中高生の学校利用は無料。

\* 障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、財団法人島根県文化振興財団、中国新聞社、BSS山陰放送

## 内 容

雪舟の花鳥画にスポットをあてる初めての展覧会。益田家伝来、雪舟筆「四季花鳥図屏風」を中心に、雪舟と同時代の花鳥画、中国の花鳥画、雪舟以後の花鳥画をとおり、雪舟とその後継者、狩野派や雲谷派など様々な画派による大作を一堂に展示。

## 新聞、雑誌掲載

山陰中央新報10月15日 椋木 賢治 グラントワ通信「初の「雪舟」展」

中国新聞10月22日 開幕記事

朝日新聞10月23日 開幕記事

読売新聞10月23日 開幕記事

毎日新聞10月25日 開幕記事

中国新聞10月30日 講演会記事

『結』10月号9月28日 展覧会紹介記事

中国新聞11月7日 椋木 賢治「作品解説」

中国新聞11月8日 椋木 賢治「作品解説」

中国新聞11月10日 椋木 賢治「作品解説」

中国新聞11月13日 雪舟の郷記念館との連携展示

## 印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：B4

割 引 券：屏風型ポストカード(2種類)

子供のための鑑賞ガイド

ミニふろしき

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)

## 関連事業

## 記念講演会「雪舟花鳥画のわかりにくさ」

講 師：綿田 稔(東京文化財研究所 広領域研究室長)

日 時：10月29日(土)14:00～15:30

会 場：講義室

聴 講 者：20名

## 雪舟フェスティバル in 益田

雪舟と関連の深い山口県域の伝統芸能と古事記ゆかりの石見神楽の上演、石見地方の特産品販売など。神々の国しまねプロジェクト助成事業。

日 時：11月5日(土)10:00～15:00

会 場：中庭広場等

参 加 者：1,650名

## 水墨画体験ワークショップ

期 日：11月15日(火)、22日(火)



水墨画体験ワークショップ①



水墨画体験ワークショップ②

内 容：小学校を対象に展示鑑賞と水墨画体験をセットで募集。

参 加 者：72名

### 雪舟満喫ツアー

期 日：11月11日(金)、16日(水)

内 容：ひろでん中国新聞旅行へ働きかけ、広島発着で雪舟展を中心とした益田市内散策ツアーを造成。

参 加 者：64名

### ギャラリートーク

講 師：椋木 賢治(学芸グループ課長)

日 時：10月22日(土)、11月5日(土)、11月12日(土)、11月20日(日)、  
11月23日(水・祝) いずれも14:00～

会 場：展示室D・A

### グラントワ tea ガーデン「ゆらぎ茶」

日 時：10月29日(土)11:00～

会 場：美術館ロビー

参 加 者：100名

### 先着プレゼント

会期中毎日先着20名に本展オリジナル「ミニふろしき」をプレゼントした。

## 企画展 「日本のわざと美」展 ―重要無形文化財とそれを支える人々―



ポスター



会場



会場



スペシャル・ギャラリートーク

展覧会名：「日本のわざと美」展―重要無形文化財とそれを支える人々―

会 期：平成23年12月17日(土)～平成24年1月23日(月)\*展示替有

休 館 日：毎週火曜日(ただし1月3日は開館)、年末年始の12月28日(水)～1月1日(日)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

\* ( )内は20名以上の団体料金。

\*小中高生の学校利用は無料。

\*障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：文化庁、島根県教育委員会、島根県立石見美術館、山陰中央テレビ

特別協力：東京国立近代美術館

## 内 容

陶芸、染織、漆芸など伝統的な工芸技術分野において、これまでに認定された全ての重要無形文化財保持者(いわゆる「人間国宝」)の作品165点をはじめ、重要無形文化財保持団体の作品17点、製作過程を示した工程見本の他、用具や材料など文化財を支える選定保存技術の資料を紹介した。

日本工芸の頂点を極めた「人間国宝」の作品を一堂で紹介することは今までになく、その圧倒的な手わざと美しさを賞賛する声が多かった。また、かたちのない無形文化財の保護の重要性を知ってもらい、地元の石州半紙などの製作実演を通じて、身近なところにあるわざの伝承を実感してもらうよい機会となった。

## 新聞、雑誌掲載

『結』12月号11月28日 展覧会紹介記事

SPOT山陰12月9日 展覧会紹介記事

山陰中央新報12月10日 左近充 直美 グラントワ通信「日本のわざと美展」

『さんいんキラリ』2011年冬号 12月15日 展覧会紹介記事

山陰中央新報12月17日 開幕記事

毎日新聞12月17日 開幕記事

中国新聞12月18日 開幕記事

読売新聞12月21日 展覧会紹介記事

毎日新聞12月25日 「伊勢型紙」製作実演紹介記事

中国新聞12月25日 「伊勢型紙」製作実演紹介記事

地域創造レター1月号 12月25日 展覧会紹介記事

SPOT山陰1月1日 展覧会と製作実演紹介記事

読売新聞1月10日 「伊勢型紙」製作実演紹介記事

山陰中央新報1月11日 作品紹介 北村 昭斎「瑞鳥唐花文螺鈿箱」

山陰中央新報1月15日 「石州半紙」製作実演紹介記事

中国新聞1月16日 「石州半紙」製作実演紹介記事

毎日新聞1月16日 「石州半紙」製作実演紹介記事

読売新聞1月16日 「石州半紙」製作実演紹介記事

『結』2月号1月28日 展覧会感想記事

## 印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4

割 引 券：ポストカードサイズ(4種類)

子供のための鑑賞ガイド

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)

## 関連事業

## スペシャル・ギャラリートーク

講 師：佐々木 正直(文化庁 主任文化財調査官)

日 時：12月17日(土)14:00～15:00

会 場：展示室D・A

参 加 者：42名



記念講演会

### 記念講演会「森口友禅について」

講 師：森口 邦彦(重要無形文化財「友禅」保持者)

日 時：12月18日(日)14:00～16:00

会 場：講義室

聴 講 者：30名

### 製作実演 第1弾「伊勢型紙」製作実演とワークショップ

三重県鈴鹿市白子、寺家地域に伝承される重要無形文化財「伊勢型紙」。着物染色用の型紙製作技術を保存会の4名が美術館ロビーで実演。また講義室で彫りを体験するワークショップも行った。

講 師：伊勢型紙技術保存会4名(突彫・錐彫・縞彫・道具彫)

製作実演：12月24日(土)、25日(日)各日10:00～12:00、13:00～16:00  
美術館ロビー

ワークショップ：12月25日(日)10:00～12:00、13:00～16:00 講義室

参 加 者：のべ269名



伊勢型紙製作実演

### 製作実演 第2弾「石州半紙」製作実演

講 師：石州半紙技術者会4名

日 時：1月14日(土)、15日(日)各日10:00～12:00、13:00～16:00

会 場：美術館ロビー

参 加 者：のべ410名



伊勢型紙ワークショップ

### グラントワ tea ガーデン「福茶」

日 時：1月2日(月)11:00～

会 場：美術館ロビー

参 加 者：100名



石州半紙製作実演

## 企画展 mite!ね。しまね 一島根県立美術館のコレクションを中心に



ポスター



会場



会場

展覧会名：mite!ね。しまね 一島根県立美術館のコレクションを中心に

会 期：平成24年2月11日(土)～3月26日(金)

休 館 日：毎週火曜日(ただし3月20日は開館)、3月21日

観 覧 料：一般/500(400)円、大学生/300(240)円、高校生以下無料

\* ( )内は20名以上の団体料金。

\* 障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

ゲストキュレーター：アメリア・アレナス(元ニューヨーク近代美術館教育部講師)

監 修：上野 行一(帝京科学大学こども学部教授)、奥村 高明(聖徳大学児童学部教授)

主 催：島根県立石見美術館、財団法人島根県文化振興財団、日本海テレビ、山口朝日放送

特別協力：島根県立美術館

協 力：株式会社アールアンテル、日本写真印刷株式会社、株式会社ブックエンド

## 内 容

本展は「鑑賞」をテーマとした展覧会。美術鑑賞教育の第一人者であるアメリア・アレナスをゲストキュレーターに迎え、彼女が選出した作品約90点を、「対話による鑑賞」に適した環境で展示した。「対話による鑑賞」とは、「よく見て、考え、話すことの中にアートは生み出される」というアレナスの考えから発想された鑑賞方法。鑑賞者が作品そのものと出会い、向き合う機会となることを目的に、作品は作家名や作品名を敢えて伏せ、解説も付けず展示することが求められた。また本展は、平成22年度開催の「島根県立美術館名品展」に続き、松江市にある島根県立美術館のコレクションを当館で展示する交流展でもあったため、同館から多数の作品を借用した。

## 新聞、雑誌掲載

中国新聞1月31日 展覧会告知記事

『ギャラリー』2月号2月1日 展覧会紹介記事

山陰中央新報2月4日 廣田 理紗 グラントワ通信「作品題名あえて表示せず」

読売新聞2月10日 開幕記事「アート鑑賞 おしゃべりOK 互いに感想、想像広げて」

新美術新聞2月11日 展覧会紹介記事 「見て、考え、話す」は楽しい

山陰中央新報2月11日 「美術品 自由に鑑賞して 作品説明なし 企画展前に内覧会」

毎日新聞2月11日 「対話」通じて美術鑑賞 作家・作品名なし 益田で企画展」

中国新聞2月12日 「益田の県立石見美術館 説明無しで自由に感想」

『美術の窓』2月号2月20日 展覧会紹介記事 「アメリア・アレナスを迎えて」

毎日新聞2月23日 「自らの作品解釈議論 情報なしで美術を鑑賞 益田東中生が研究授業」

読売新聞2月29日 「油絵感想 感想色とりどり 益田の中学生 石見美術館で実践授業」

朝日新聞3月2日 展覧会紹介記事

## 印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A3見開き

「メッセージカード」全来場者に配付した、本展主旨を伝えるカード

「美術館でおしゃべりしよう!」対話のきっかけとなるワークシート集(小学生向け)

「じろじろみてね しまね美術鑑賞学習セット ワークシート・アートカード」主に小学校での美術鑑賞授業に活用されることを想定した学習セット

(デザイン：すべてo-design 折原 滋)

## 事前研修

「対話による鑑賞」を軸に置いた展覧会であることから、展覧会開催前に当館職員や周辺の教員を対象に研修を実施。同鑑賞法のあり方や効果について、講義や実践を通じて理解を深めた。

平成23年8月1日(月)・2日(火)

講 師：上野 行一(展覧会監修者、帝京科学大学こども学部教授)、林 寿美(川村記念美術館学芸員)、藤元 由紀子(株式会社ブックエンド)

対 象：島根県下の教員、当館職員

会 場：講義室

8月26日(金)・27日(土)

講 師：奥村 高明(展覧会監修者、聖徳大学児童学部教授)

対 象：島根県下の教員、当館職員

会 場：講義室



アメリア・アレナスによるスペシャルレクチャー



アメリア・アレナスによる実践！トークセッション



鼎談



みるみるとmite！みる？



タパタパの「タイワゼリー」ってどんな味？食べてmite！

平成24年1月8日(日)・22日(日)

講師：廣田 理紗(当館学芸員)

対象：当館職員

会場：講義室

#### 関連事業

#### アメリア・スペシャル・ディ

「対話による鑑賞」という方法を提案し、世界に広めたアメリア・アレナスの来日を記念し、展覧会初日を「アメリア・スペシャル・ディ」とし、関連イベントを開催した。

#### 「アメリア・アレナスによるスペシャル・レクチャー」

アメリア・アレナスが自ら「対話による鑑賞」の効果や魅力を語った。

日時：2月11日(土)10:30～12:00

会場：スタジオ1 聴講者：90名

#### 「アメリア・アレナスによる実践！トーク・セッション」

アメリア・アレナスのファシリテートで観覧のみなさんと話し合い（トーク・セッション）ながらじっくり作品を鑑賞した。

日時：2月11日(土)14:00～

会場：展示室D

参加者：29名

#### 鼎談「どれどれ美術鑑賞－「対話による鑑賞」が日本の美術館や学校にもたらしたもの－」

美術鑑賞教育の現場でなされている「対話による鑑賞」の現状について、県内、県外ともに実践例を交えて紹介いただいた。

講師：上野 行一(帝京科学大学こども学部教授)

奥村 高明(聖徳大学児童学部教授)

角 美幸(出雲市立旭丘中学校校長)

日時：2月12日(日)10:30～12:00

会場：スタジオ1

聴講者：40名

#### トーク・セッション「みるみるとmite！みる？」

島根県下で「対話による鑑賞」に取り組む教員グループ「みるみるの会」のメンバーがファシリテーターとなり、観覧のお客様と話し合い(トーク・セッション)しながらじっくりと作品を鑑賞した。

日時：2月19日(日)、3月4日(日)、11日(日)、18日(日)、20日(火)、25日(日)  
各日14:00～

会場：美術館ロビー 協力：みるみるの会 参加者：合計116名

#### グラントワ tea ガーデン「mite！茶」

日時：3月3日(土)11:00～

会場：美術館ロビー 参加者：70名

#### ワークショップ「タパタパの「タイワゼリー」ってどんな味？食べてmite！」

目にも美味しい料理を作ることに定評のある「お料理ユニット」タパタパ。「対話」と「鑑賞」をキーワードに、ペアで一つの作品を鑑賞し、鑑賞体験をゼリーやお菓子里に置き換え、表現するワークショップを行った。

講師：お料理ユニット タパタパ

日時：3月17日(土)13:00～16:30

対象：小学3年生以上 会場：多目的ギャラリー 参加者：12名

## 特別展



「赤綫」チラシ



特別講演会



スペシャルパフォーマンス



写真展

## 展示室A 内藤廣の赤綫

会 期：平成23年4月8日(金)～6月6日(月)

内 容：当館の設計者である建築家、内藤廣によるインスタレーション。2010年に東京国立近代美術館で開催された「建築はどこにあるの?7つのインスタレーション」で発表された作品を内藤自身の設計による当館で公開した。真っ暗な室内に建築用レーザーを用いて赤い「綫」を出現させる本作品は、作品を「体験」する鑑賞者に空間と身体の関係問いかけるものである。会期前に当館が公共建築賞を受賞したこともあり、会期中に内藤氏による受賞記念特別講演会も開催した。また、作品をより深く味わうために、会場内でダンサーと音楽家によるパフォーマンスも実施した。なお本展会期にあわせ、回廊にて公共建築賞受賞記念の建築の写真パネル展も行った。

## 印刷物

展覧会チラシ：A 5(デザイン：野村デザイン制作室)

## 関連事業

## 内藤廣による建築ツアー

講 師：内藤 廣

日 時：5月7日(土)15:00～16:00

参 加 者：44名

## 公共建築賞受賞記念 内藤 廣 特別講演会

講 師：内藤 廣

日 時：5月7日(土)17:00～18:30

会 場：多目的ギャラリー

聴 講 者：75名

## 「赤綫」のためのスペシャルパフォーマンス

出 演：上村 なおか(ダンス)、鈴木 広志(サクソフォン)

日 時：5月8日(日)①14:00～②16:30～

会 場：展示室A

参 加 者：①50名／②42名

## 公共建築賞受賞記念 写真パネル展示

公共建築賞受賞を記念し、設計図、建築中の写真などをパネル展示した。

会 期：4月8日(金)～6月6日(月)

会 場：回廊

## 新聞掲載

中国新聞5月8日 建築ツアー取材記事

**展示室B 速報 医光寺の仏像**

会 期：平成23年4月20日(水)～6月20日(日)

内 容：平成22年度に実施した調査の成果を踏まえ、医光寺伝来の仏像3体を展示。室町文化フェスティバル協賛。

**出品リスト**

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1		釈迦如来坐像	応安4年(1371)	木彫	医光寺
2		薬師如来坐像	南北朝時代	木彫	医光寺
3		弘法大師坐像	嘉暦2年(1327)	木彫	医光寺

**新聞掲載**

山陰中央新報4月5日 調査成果・展覧会紹介記事

山陰中央新報4月16日 グラントフ通信

読売新聞4月21日 調査成果・展覧会紹介記事

中国新聞4月21日 調査成果・展覧会紹介記事

山陰中央新報4月21日 展覧会紹介記事

毎日新聞5月13日 調査成果・展覧会紹介記事



## コレクション展

## 展示室A 自然を描く

会 期：平成23年6月9日(木)～9月5日(月)＜前期：6月9日(木)～7月18日(月) 後期：7月20日(水)～9月5日(月)＞

内 容：自然を題材に描いた洋画、日本画作品を一堂に展示した。四季や時間によって変化する風景など、画家の目を通した自然の空気感を感じてもらった。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正～昭和初期	油彩・絹本	島根県立石見美術館
2	鹿子木 孟郎	舞子の浜	大正3年(1914)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
3	石井 柏亭	芙蓉湖	昭和25年(1950)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
4	狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本・墨画	島根県立石見美術館
5	寺崎 広業	竹裡館観月	明治後期～大正初期	絹本・着色	島根県立石見美術館
6	曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本・墨画	島根県立石見美術館
7	富岡 鉄斎	江山招隠図	明治40年(1907)	絹本・着色	島根県立石見美術館
8	谷 文晁	滝図	文政11年(1828)	絹本・着色	島根県立石見美術館
9	山本 琴谷	月下横臥図	万延元年(1860)	絹本・淡彩	島根県立石見美術館
10	今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	明治33年(1900)	絹本・着色	島根県立石見美術館
11	西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	昭和3年(1928)	紙本・着色	島根県立石見美術館
12	横山 大観	水温む	昭和29年(1954)	紙本・墨画	島根県立石見美術館
13	田中 頼璋	白雲紅樹	昭和9年(1934)	絹本・着色	島根県立石見美術館
14	五百城 文哉	富士図	明治26～39年 (1893～1906)	水彩・紙	島根県立石見美術館
15	三宅 克己	農村風景	明治29年(1896)	水彩・紙	島根県立石見美術館
16	大下 藤次郎	修善寺	明治29年(1896)	水彩・紙	島根県立石見美術館
17	山田 喜作	湘南初夏	昭和6年(1931)	絹本着色	島根県立石見美術館
18	山崎 修二	窓辺の静物	昭和25年(1950)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
19	山崎 修二	風景	昭和16年(1941)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
20	山崎 修二	山懐の早春	昭和28年(1953)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
21	満谷 国四郎	雑木林	大正11年(1922)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館

## 新聞掲載

山陰中央新報5月28日 グラントワ通信

山陰中央新報7月24日 展覧会紹介記事

## 展示室A 豪華絢爛！金屏風の世界

会 期：平成23年9月7日(水)～10月17日(月)

内 容：所蔵作品より、金を使った屏風を紹介。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	長谷川派	武蔵野図屏風	桃山～江戸時代初期	紙本金地着色、六曲一双	島根県立石見美術館
2		舞踊図屏風	江戸時代初期	紙本金地着色、二曲一隻	島根県立石見美術館
3		遊女柳橋扇面流図屏風	江戸時代初期	紙本金地着色、六曲一隻	島根県立石見美術館
4	小堀 鞆音	舞楽図屏風	明治後期～昭和初期	紙本金地着色、六曲一双	島根県立石見美術館
5	今尾 景年	花鳥図屏風	明治後期～昭和初期	絹本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
6	池田 輝方	絵師多賀朝潮流さる	大正8年(1919)	絹本着色、六曲一双	島根県立石見美術館

## 新聞掲載

山陰中央新報9月8日 展覧会紹介記事

## 展示室A 雲谷派

会 期：平成23年11月26日(土)～12月11日(日)

内 容：桃山時代から江戸時代初期にかけて活動し、毛利氏の御用画師として活躍した雲谷等顔とその流派「雲谷派」を紹介。

### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷 等顔	押絵貼屏風	桃山時代～江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
2	雲谷派	耕作図屏風	桃山時代～江戸時代	紙本墨画	島根県立石見美術館
3	雲谷 等益	山水図屏風	江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
4	雲谷 等益	四季山水図屏風	江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
5	雲谷 等的	観音山水図	江戸時代	絹本墨画淡彩	島根県立石見美術館
6	雲谷 等的	山水図	江戸時代	紙本墨画	島根県立石見美術館
7	斎藤 等室	山水図	江戸時代	紙本墨画	島根県立石見美術館

### 新聞掲載

山陰中央新報12月2日 展覧会紹介記事

## 展示室A もっと見てね。日本画

会 期：平成24年1月26日(木)～3月20日(火・祝)

内 容：石見ゆかりの作品を中心に日本画を紹介。特に日本画の技法や形状に注目した解説をつけ、日本画の特徴について知ってもらう機会とした。

### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	橋本 明治	荘園	昭和9年(1934)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
2	北野 恒富	むすめ	大正14年(1925)	紙本着色、額	島根県立石見美術館
3		人麻呂図屏風	江戸時代中頃	紙本金地著色、六曲一隻	島根県立石見美術館
4	山本 榮谷	年中行事図屏風	江戸時代末頃	紙本墨画淡彩、六曲一双	島根県立石見美術館
5	岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図屏風	嘉永元年(1848)	紙本墨画淡彩、六曲一双	島根県立石見美術館
6	中林 竹洞	秋弁鴛鴦図	天保2年(1831)	絹本着色、一幅	島根県立石見美術館
7	中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代末頃	絹本着色、一幅	島根県立石見美術館
8	竹内 栖鳳	藤花薔花群犬図屏風	明治31年(1898)	紙本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
9	西 晴雲	四季花木図	大正時代末頃	紙本着色、四幅対	島根県立石見美術館

### 新聞掲載

山陰中央新報2月9日 展覧会紹介記事

### 関連事業

#### いつでもどこでも音楽祭「みてね。きいてね。絵からうまれた音楽」

「名画をいろいろ話芸と音楽 vol.3」の告知を兼ね、vol.1、2において石見美術館の所蔵品を題材に作られた曲を、スライド画像の投影とともに演奏した。

出 演：鈴木 広志(サクソフォン)、大口 俊輔(ピアノ)、小林 武文(パーカッション)

日 時：2月26日(日)11:30開演

会 場：美術館ロビー

平成23年度文化芸術振興費補助事業(文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業)

#### 「名画をいろいろ話芸と音楽 vol.3」

本展展示室にて、展示作品をモチーフとし、話芸と音楽を楽しむパフォーマンスを開催した。

日 時：3月10日(土)15:30開演

※詳細は「教育普及活動」(27ページ)に記載

## 展示室B 彫りのワザを見る!

会 期：平成23年6月24日(金)～9月5日(月)

内 容：コレクションの中から、根付、木彫、木版画など、彫りのワザが堪能できる作品群を展示した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	中村 松間斎	猛禽図(鷹に猿)高時絵印籠 (付属：根付・緒締・組紐)	江戸時代末期	高時絵	島根県立石見美術館
2	巖水	扇面草図	江戸時代後期	象牙	島根県立石見美術館
3	龍水	牛	江戸時代後期	木	島根県立石見美術館
4	富春	蓮葉に蓑亀	寛政4年(1792)	鯨の歯	島根県立石見美術館
5	富永	蜘蛛	江戸時代後期	猪牙・目に象嵌	島根県立石見美術館
6	富春	亀	江戸時代後期	木・目に二重象嵌	島根県立石見美術館
7	不詳	蜘蛛	江戸時代後期	猪牙・目に銀象嵌	島根県立石見美術館
8	富春	鮑に蟹	寛政7年(1795)	象牙	島根県立石見美術館
9	和地 一風	月下の祈り	平成17年(2005)	猪牙・べっ甲・海松	島根県立石見美術館
10	前田 中	番(つがい)	平成17年(2005)	猪牙・べっ甲・海松	島根県立石見美術館
11	高木 喜峰	迷い道	平成17年(2005)	猪牙・メキシコ鮑	島根県立石見美術館
12	穴戸 濤雲	柿本人麿	平成17年(2005)	猪牙	島根県立石見美術館
13	田中 俊謙	おろち	平成19年(2007)	猪牙	島根県立石見美術館
14	富春	亀	江戸時代後期	水牛角・目に二重象嵌	江津市 七田眞コレクション
15	文章女	黒柿に蜘蛛	江戸時代後期	黒柿・目に銀象眼	江津市 七田眞コレクション
16	文章女	蜘蛛と忍ぶ草	江戸時代後期	猪牙・目に銀象眼	江津市 七田眞コレクション
17	文章女	百足	江戸時代後期	猪牙	江津市 七田眞コレクション
18	巖水	忍ぶ草に蜘蛛	江戸時代後期	象牙	江津市 七田眞コレクション
19	不詳(銘に「巖水」)	猪牙に鹿二頭	江戸時代後期	猪牙	江津市 七田眞コレクション
20	不詳	鮑に蟹	江戸時代後期	木	江津市 七田眞コレクション
21	不詳(銘に「吉」)	蟹	江戸時代後期	木	江津市 七田眞コレクション
22	雲陽 直人	黒蟬	江戸時代後期	水牛角	江津市 七田眞コレクション
23	素龍	蜘蛛二匹	江戸時代後期	猪牙	江津市 七田眞コレクション
24	貫満	象牙に和歌	文政4年(1821)	象牙	江津市 七田眞コレクション
25	貫満	稲穂に鼠	江戸時代後期	海松	江津市 七田眞コレクション
26	貫満	笥切株茄子鞘豆	江戸時代後期	黒柿	江津市 七田眞コレクション
27	青牛軒	猪牙に蟹	文化13年(1816)	猪牙	江津市 七田眞コレクション
28	正吉	近江八景	文化5年(1808)	象牙	江津市 七田眞コレクション
29	小林 仙歩	竹に蟬	現代	象牙	江津市 七田眞コレクション
30	綿山 道人	蛙	江戸時代後期	黄楊	江津市 七田眞コレクション
31	富永	和歌と南天	江戸時代後期	象牙	江津市 七田眞コレクション
32	可専	亀	江戸時代後期	黒檀または黒柿	江津市 七田眞コレクション
33	米原 雲海	仙丹	明治43年(1910)	木	島根県立石見美術館
34	内藤 伸	豊公	大正7年(1918)	木	島根県立石見美術館
35	内藤 伸	重陽菊酒	昭和5年(1930)	木・彩色	島根県立石見美術館
36	澄川 喜一	そりのあるかたち	平成19年(2007)	木(樺・杉)	個人蔵
37	原画：政信	浮世絵版木(復刻) 八色摺四枚揃木と摺り見本	昭和初期	木	島根県立石見美術館
38	原画：写楽・春潮・歌麿	浮世絵版木(復刻)主版 主版三枚	大正時代	木	島根県立石見美術館

## 展示室B ジョルジュ・バルビエ

会 期：平成23年9月7日(水)～10月24日(月)

内 容：アール・デコ期のパリにおいて、活躍したイラストレーター、ジョルジュ・バルビエ。ギリシャの壺絵、エジプトの壁画、ロシア・バレエ、シノワズリ(中国趣味)、など様々な文化的要素がとけ込んだイラストレーションで独自の世界を構築した。本展では当館所蔵のバルビエによるファッション・プレートを一挙に公開した。

## 出品リスト

No.	作家名	雑誌名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ジョルジュ・バルビエ	ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード	パールグレーのサテンのテーラード・スーツ.黒の麦わら帽子.	1912年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
2			夏の装い.寒冷紗のブラウスにフォアードのスカート.	1912年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
3			タッサーで飾った大きな水玉模様のフォアードの海浜着.赤いスエードの帽子.	1912年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
4			ローズ色の刺繍で縁取りした白いラシャのローブ.かぎ針編みの薔薇のベルト.	1912年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
5			襟と袖口に白ぎつねの毛皮をあしらった黒てんのマントー.	1912年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
6			青ぎつねの毛皮で飾ったローズ色の婦人用マントー.黒い極楽鳥羽飾りの帽子.	1912年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
7			ぎつねの毛皮を飾った白いクレープ・デ・シンのローブ.かわうそとスカンクの毛皮のマントー.	1912年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
8			黒のサテンと、縁にダイヤをあしらった、チュールの夜会用ローブ.	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
9			ロンギの仮装衣装.白い飾り紐の付いた貴婦人のローブと、黒いタフタとレースのパウッタ.	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
10			スカンクの毛皮を飾りウールで刺繍した、白いラチネ織りのサン＝モリッツのための服.	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
11			夜会用盛装.肌色モスリンのブラウス.“インド会社”趣味の刺繍をしたシルクのチュニック.	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
12			前が大きく開いたシルク・プロケードの部屋着に、寒冷紗の内着.	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
13			ゆったりとした“帯”で上衣とパニエがかたち作られている.黒の魅惑的なローブ.	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
14			劇場用マントー.	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
15			プリントしたローンのドレス.	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
16			水着.	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
17			パールで飾った白いベルベットのマントー.女性の白いローブ.ローズ色の短靴.	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
18			プリーツ・スカートに、日本風のシルク・ブラウス.白いトワルのセーラー服.	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
19			緑のシュニール糸で飾った“年配の女性風”タフタのマントー.パール刺繍のマフ.	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
20			ベルベットのプティ・マントーに、寒冷紗のローブ.	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
21			緑のラチネ織りに黒いベルベットのテーラード・スーツ.いちご色のタフタのジレ.	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
22			ヨットの服装.ラシャのベストに、トワルのスカート.革の帽子.	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
23			銀のプロケード入りの夜会用盛装服.ブルーの髪飾りと羽飾り.	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
24			プリントしたタフタの装い.麦藁帽子.	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
25	モード・エ・マニエル・ドージュル・デュイ	1 美しい朝課	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館	
26		2 噴水受け	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館	
27		3 突風	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館	
28		4 移り気な鳥	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館	
29		5 赤い弓	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館	
30		6 正午に、水の上で	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館	
31		7 小島	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館	
32		8 夜のバラ	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館	
33		9 シェヘラザード	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館	
34		10 ボックス席	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館	
35		11 ダンス	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館	
36		12 アルルカン(道化役)	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館	
37	ガゼット・デュ・ボン・トン	静かにして… パキャンのデイ・ドレス.	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館	
38		ああ、なんと好天だろう! パキャンのデイ・ドレス.	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館	
39		少しだけ… パキャンのドレス.	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館	
40		美神の戯れ パキャンのデイ・ドレス.	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館	
41		美しい女性 パキャンの訪問着.	1912年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館	

No.	作家名	雑誌名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
42	ジョルジュ・バルビエ	ガゼット・デュ・ボン・トン	ヘスベリデスの園 パキヤンの秋物のテーラード・スーツ.	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
43			イヌサフラン パキヤンの旅行のためのマントー.	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
44			ここに果物と花と葉と枝がある… パキヤンの夜着	1913年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
45			“コロマンデル” イヴニング・ドレスとイヴニング・コート.	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
46			貝殻の泉 パキヤンのイヴニング・ドレス.	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
47			豎琴奏者 パキヤンのイヴニングコート.	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
48			科学の木 デュイエのイヴニング・ドレス.	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
49			糸杉と薔薇 デュイエのサマー・ドレス.	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
50			衝撃的な小さな魚 サマー・ドレス.	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
51			椰子の木の浜辺 ウォルトのテイラード・スーツ.	1921年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
52			さよなら! ウォルトのイヴニング・コート.	1921年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
53			情け容赦なく美しい女 ウォルトのイヴニング・ドレス.	1921年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
54			夜に咲く薔薇 ウォルトのイヴニング・ドレス.	1921年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
55			煙 ベーアのイヴニング・ドレス.	1921年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
56			はじめての軽率な行為 ベーアのイヴニング・ドレス.	1921年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
57			薔薇園 ウォルトのイヴニング・ドレス.	1922年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
58			あなたを愛さぬ者があるか ウォルトのイヴニング・ドレス.	1922年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
59			天の川 ウォルトのイヴニング・ドレスとイヴニング・コート.	1921年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
60			期待してください ウォルトのイヴニング・ドレス.	1922年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
61			パヴァーヌ ウォルトのイヴニング・ドレス.	1922年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
62			憂鬱な散策者 ベーアのアフタヌーン・ドレス	1922年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
63			ロザリンド ウォルトのイヴニング・ドレス.	1922年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
64			プシュケ ウォルトのイヴニング・ドレス.	1922年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
65			魔法 ベーアのイヴニング・ドレス.	1922年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
66			夜の蜘蛛…希望 ウォルトのイヴニング・ドレス.	1922年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
67			時機の悪い天気雨 ウォルトによるコート・ダ・ジュールのための服.	1922年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
68			秘密のねむるお墓 ウォルトの室内着.	1922年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
69			「椿姫」におけるイダ・ピンシュタイン ウォルトのドレス.	1923年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
70			王女の薔薇 ウォルトの衣装.	1924年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
71			紅殻色の者たち ウォルトのイヴニング・ドレス.	1923年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
72			朝と夜 ウォルトのモスリンのドレス.	1925年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
73			宵の明星 ウォルトのイヴニング・ドレス.	1922年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
74			賭博場へ向けて出発 ウォルトのイヴニング・コート.	1923年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
75			青い部屋 ベーアのイヴニング・ドレス.	1923年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
76			アマルフィ ウォルトによる衣服	1922年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
77			アルテミス ウォルトのコート.	1924～1925年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
78			堂々たるひと ウォルトのイヴニング・ドレスとイヴニング・コート.	1924～1925年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
79			世界を支配する力 ウォルトのイヴニング・ドレス.	1924年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
80			秋の交響曲 ウォルトのアフターヌーン・ドレスとアフターヌーン・コート.	1922年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
81			素晴らしい人物 ウォルトのイヴニング・ドレス.	1924～1925年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
82			私はここよ! ウォルトのドレス.	1924～1925年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
83			コメ湖 マックス・アールロフによる毛皮のコート.	1924年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
84			エロス ウォルトのイヴニング・ドレスとイヴニング・コート.	1924年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
85			ベルヴェデーレ宮殿 ウォルトのコート・ドレス.	1924年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
86			芍薬 ウォルトのイヴニング・ドレス.	1924年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
87			噴水の上の踊り子 ウォルトによる踊りのためのドレス.	1924～1925年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
88			ヴィラ・ゴリでの会談 ウォルトのドレスとコート.	1924～1925年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
89			「マノン、ガランテの娘」における女優、ジャンヌ・マルナック パルージャの短靴、ジョルジュ・バルビエの衣装.	1924～1925年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
90			美女か金か ウォルトのイヴニング・ドレス.	1924～1925年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
91			ヴィシー1 みんなちゃんと大人しくするのよ.	1915年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
92			ヴィシー2 お人形遊び.	1915年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
93			行列 ウォルトのイヴニング・ドレス.	1924～1925年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館
94			イソラ・ベッラ レドファン・イヴニング・ドレス.	1914年	ボショワール版画、紙	島根県立石見美術館

## 新聞掲載

毎日新聞9月16日 展覧会紹介記事

山陰中央新報10月7日 展覧会紹介記事

## 展示室B 黒をまとう

会 期：平成23年10月27日(木)～12月5日(月)

内 容：シャネルは「黒は、強く個性を引き出す色」と述べ、華やかな装飾が流行していた1926年に装飾のない黒一色のドレスを発表し、黒の持つ色のイメージを大きく転換させた。本展では、シャネルのリトル・ブラック・ドレス以降の黒い衣装を特集展示し、黒色の意味や効果について検討した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス。バィアスカット。黒の絹のスリッパ。	島根県立石見美術館
2	森 英恵	イブニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピースドレス。	島根県立石見美術館
3	ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イブニングドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材。共布のショール付き。	島根県立石見美術館
4	ピエール・バルマン	イブニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地。後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き。	島根県立石見美術館
5	メンバーシェ	イブニングドレス	1940年代	黒の絹クレープ。背中に深いVカット。ラグランスリーブ。	島根県立石見美術館
6	アリックス・グレ	イブニング・ドレス	1958年	純金帯地(西陣織)のイブニングコート、ショードレスのスカート。ショードレスのトップスは絹サテンと帯地。	島根県立石見美術館
7	イヴ・サンローラン	イブニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイブニング・スーツ。	島根県立石見美術館
8	イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス「夜の音楽」	1956年頃	シルク・グログラン地、Vネックライン。七分丈のラグランスリーブス、トラペーズラインのスカート	島根県立石見美術館

## 新聞掲載

山陰中央新報11月12日 グラントワ通信

## 展示室B 森鷗外に愛された画家 宮芳平

会 期：平成23年12月8日(木)～24年2月6日(月)

内 容：没後40年を記念し、森鷗外の小説「天龍」の主人公“M君”のモデルとなった画家、宮芳平の作品を、館蔵のエッチング、油彩、デッサンにより紹介。鷗外、および宮の文章をパネル展示し、二人の交友と人となりをしるぶ内容とした。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	宮 芳平	ボプラと湖	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
2		自画像	大正9年(1920)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
3		自画像	昭和9年(1934)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
4		黒百合	昭和9年(1934)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
5		門	昭和9年(1934)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
6		ハヶ嶽	昭和9年(1934)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
7		ブラジルへ行った人の家	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
8		御神木	昭和9年(1934)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
9		水	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
10		雨 その1	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
11		雨 その2	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
12		コスモス	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
13		雲	昭和8年(1933)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
14		田舎(三日月)	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
15		茄子	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
16		おぼろの太陽	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
17		松	昭和10年(1935)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
18		昭子像	昭和10年(1935)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
19		自画像(眼を病める)	昭和10年(1935)	エッチング・紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
20	宮 芳平	旧校舎(雪)	昭和10年(1935)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
21		室内	昭和10年(1935)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
22		はげのある風景	昭和3年(1928)	鉛筆・紙	島根県立石見美術館
23		村里	昭和8年(1933)	コンテ・紙	島根県立石見美術館
24		冬の木	昭和7年(1932)	鉛筆・紙	島根県立石見美術館
25		樹木	昭和29年(1954)	コンテ・紙	島根県立石見美術館
26		もろこしとトマト	昭和10年(1935)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
27		コーヒーわかし	昭和10年(1935)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
28		月(望月)	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
29		枯野	昭和11年(1936)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
30		水辺	昭和10年(1935)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
31		山湖	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
32		郊外	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
33		叢	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
34		山(冬の裏山)	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
35		山	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
36		山と月	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
37		実のなる木	昭和10年(1935)	エッチング、彩色・紙	島根県立石見美術館
38		庭の花(くりん草)	昭和11年(1936)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
39		庭の花(すみれ)	昭和11年(1936)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
40		庭の花(桜草)	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
41		茄子の木	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
42		裏山	昭和10年(1935)	エッチング・紙	島根県立石見美術館
43		湖と乙女	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
44		湖と乙女(月)	昭和10年(1935)頃	エッチング・紙	島根県立石見美術館
45	風景	大正時代	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館	

## 新聞掲載

毎日新聞12月15日 展覧会紹介記事

山陰中央新報12月31日 展覧会紹介記事

## 展示室B ラウル・デュフィ

会 期：平成24年2月8日(木)～4月2日(月)

内 容：ファッション・デザイナーのポール・ポワレと交流し、布地(テキスタイル)のデザインも手がけたデュフィのテキスタイルや、デザイン画等を展示し、画家デュフィのデザイナーとしての仕事を紹介した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～22年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2		ダンス	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
3		狩猟	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
4		ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「花」	1911年	ヴェルヴェット、サテン	島根県立石見美術館
5		ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「ペリカン」	1912～13年	プリント、綿布	島根県立石見美術館
6		ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「ダンス」	1914年	麻布、プリント	島根県立石見美術館
7		ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「昼顔」	1914年	プリント、サテン	島根県立石見美術館
8		ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「アポロンの馬」		プリント、シルク	島根県立石見美術館
9		ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「たちあおい」	1918年	プリント、シルク	島根県立石見美術館
10		ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「アラム」	1919年	プリント、麻布	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
11	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「ヨーロッパの果物」	1919年	織り、シルク	島根県立石見美術館
12		ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「虎と象」	1922年	織り、クレープ	島根県立石見美術館
13		ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「花・水浴の女・船・貝殻」	1924年頃	モスリン	島根県立石見美術館
14		ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「ドール・ヴィルまたはレガッタ」	1925年頃	プリント、シルク	島根県立石見美術館
15		ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「ダンス」	1914年	プリント、紙	島根県立石見美術館
16		ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「虎と象」	1914年頃	プリント、紙	島根県立石見美術館
17		ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「鳥、異国の果物と花」	1912～28年	プリント、紙	島根県立石見美術館
18		ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「アポロンの馬」		グアッシュ、紙	島根県立石見美術館
19		ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「菊」		グアッシュ、紙	島根県立石見美術館
20		ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「パステル色の花」		プリント、紙	島根県立石見美術館
21	ポール・ボワレ	デイ・ドレス テキスタイル：ラウル・デュフィ「ドール・ヴィルまたはレガッタ」	1925年	Vネックの襟元、ロウ・ウエスト。	島根県立石見美術館

## 新聞掲載

山陰中央新報2月24日 展覧会紹介記事



## 展示室C 生誕150年記念 森鷗外と交友の画家たち

会 期：平成24年3月31日(木)～6月26日(日)

内 容：森鷗外生誕150年を記念し、館蔵品より森鷗外と交友のあった画家たちの作品を紹介。あわせて、画家たちが装丁した鷗外の著書や、鷗外が寄稿した画家の著書を展示した。

### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルル	1868年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	不詳	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	原田 直次郎	男児図	明治20年代(1887～97)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	大下 藤次郎	野の道	1895年(明治28)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5-1	大下 藤次郎	巢鴨	明治30年(1897)	水彩、紙	島根県立石見美術館
5-2	大下 藤次郎	泉邸	明治41年(1908)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
6	黒田 清輝	ポプラの黄葉	明治24年(1891)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
7	黒田 清輝	裸体	明治22年(1889)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
8	岡田 三郎助	黒き帯	大正4年(1915)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
9	藤島 武二	西洋婦人像	明治41～42年(1908～09)頃	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
10	中村 不折	裸体	明治36～38年(1903～05)頃	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
11	中村 不折	裸婦	不詳	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
12	和田 英作	風景	大正3年(1914)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
13	鹿子木 孟郎	加茂ノ森	大正12年(1923)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
14	中川 八郎	初秋の夕	大正8年(1919)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
15	藤田 嗣治	アントワープ 港の眺め	大正12年(1923)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
16	藤田 嗣治	青いドレスの女	昭和14年(1939)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
17	満谷 国四郎	風景	大正時代中頃	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
18	吉田 博	風景	大正時代中頃	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
19	宮 芳平	風景	大正時代	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
20	宮 芳平	自画像	大正9年(1920)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
21	木下 杢太郎	助六	不詳	油彩・カンヴァス	個人蔵
22	長原 孝太郎	風景	大正10年(1921)	油彩・板	島根県立石見美術館
23	森 鷗外	『水彩画の菜』題言	明治34年(1901)	墨・紙	島根県立石見美術館

No.	著者、訳者名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
24	森 鷗外ほか	『新著百種』第12号(森鷗外「文づかひ」掲載)	明治24年(1891)	書籍	島根県立石見美術館
25	森 鷗外訳	『人の一生 飛行機』	明治44年(1911)	書籍	島根県立石見美術館
26	森 鷗外訳、ハウプトマン作	『寂しき人々』	明治44年(1911)	書籍	島根県立石見美術館
27		『大下藤次郎遺作集』	大正元年(1912)	書籍	島根県立石見美術館
28	森 鷗外訳、ホフマンスタール作	『謎』	大正3年(1914)	書籍	島根県立石見美術館
29	森 鷗外訳、ゲーテ作	『ギョッツ』	大正5年(1916)	書籍	島根県立石見美術館
30	森 鷗外訳	『蛙』	大正8年(1919)	書籍	島根県立石見美術館
31	大下 藤次郎	『水彩画の菜』	明治34年(1901)	書籍	島根県立石見美術館

### 新聞掲載

SPOT山陰5月27日 展覧会紹介記事

## 展示室C 50年前の服

会 期：平成23年6月30日(木)～8月29日(月)

内 容：1950年代から60年代にかけて広がった若者文化を紹介する企画展「スウィングン・ロンドン 50's-60's」にあわせ、当館所蔵の1960年代に制作された衣装を紹介した。

### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティイレースの「ベビードールドレス」。黒の絹のスリッパドレス。	島根県立石見美術館
2	アンドレ・クレージュ	ドレス ブーツ	1960年代後半～1970年	オレンジ色のビニール。スタンドカラー。丈の短いジャケット、ヒップ・ボーンのミニ・スカート。銀色の革製のブーツ。	島根県立石見美術館
3	ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス、ピキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット。ビニールのインサレーション。ブーツにも同様のビニールのインサレーション。	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
4	ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ヒキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーンのウール・ニット。ビニールのインサーション。ブーツにも同様のビニールのインサーション。	島根県立石見美術館
5	ルディ・ガーンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンのウール・ニット。ボタン付きベルト。	島根県立石見美術館
6	森 英恵	イヴニングコート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のイヴニングコート、ショートドレスのスカート。ショートドレスのトップスは絹サテンと帯地。	島根県立石見美術館
7	ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル。プラスチック製のシダのモチーフのデコレーション。	島根県立石見美術館
8	パコ・ラバンヌ	イヴニングドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス。	島根県立石見美術館
9	ルディ・ガーンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリング・ボーン・パターンのウール、綿、ゴムの混紡。	島根県立石見美術館
10	アンドレ・クレージュ	ディ・アンサンブル	1965～67年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス。裏地は絹。	島根県立石見美術館
11	アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、ファスナー付き。	島根県立石見美術館

\*6 森英恵のイヴニングコートとショートドレスは2体のマネキンに分けて着用させ展示。

\*10 クレージュのディ・アンサンブルとブーツは1体のマネキンに併せて着用させ展示。

#### 新聞掲載

山陰中央新報7月6日 展覧会紹介記事

毎日新聞7月23日 展覧会紹介記事

#### 展示室C 没後100年 大下藤次郎の水彩画

会 期：平成23年8月31日(水)～10月17日(月)

内 容：没後100年を記念し、森鷗外の小説「ながし」の主人公のモデルであり、明治時代に日本の水彩画普及に貢献した画家、大下藤次郎の水彩画を紹介。初期から晩年までの作品に加え、スケッチブックや絵葉書のデザイン画など資料をあわせて展示し、その足跡を追うことのできる内容とした。

#### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	大下 藤次郎	日暮里	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
2		修善寺	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
3		富士を望む	明治30年(1897)	水彩、紙	島根県立石見美術館
4		日光	明治30年(1897)	水彩、紙	島根県立石見美術館
5		風景	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
6		シドニー湾	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
7		シドニー、ニュー・サウス・ウェールズ	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
8		サンドゲート、クイーンズランド	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
9		ロイヤルパーク、メルボルン	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
10		坂本	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
11		城跡	明治36年(1903)	水彩、紙	島根県立石見美術館
12		村の寺	明治37年(1904)	水彩、紙	島根県立石見美術館
13		青梅	明治37年(1904)	水彩、紙	島根県立石見美術館
14		寄居	明治37年(1904)	水彩、紙	島根県立石見美術館
15		天ヶ瀬	明治37年(1904)	水彩、紙	島根県立石見美術館
16		湖水を望む	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
17		せせらぎ	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
18		波	明治38年(1905)	水彩、紙	島根県立石見美術館
19		風景	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
20		浮き雲	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
21		湖上の雲	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
22		穂高山の残雪	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
23		徳本小屋のほとり	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
24		猪苗代	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
25		山上の眺め	明治41年(1908)	水彩、紙	島根県立石見美術館
26		山あいの道	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
27		初夏	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
28		秋の夕	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
29		富士を望む	明治42年(1909)	水彩、紙	島根県立石見美術館
30		水芭蕉	明治41年(1908)	水彩、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
31	大下 藤次郎	京都近郊	明治28年(1895)	鉛筆・水彩、紙	島根県立石見美術館
32		京都途上所見	明治28年(1895)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
33		秩父琴平山	明治30年(1897)	鉛筆・水彩、紙	島根県立石見美術館
34		二十八番観音	明治30年(1897)	鉛筆・水彩、紙	島根県立石見美術館
35		西総田舎の景	明治26年(1893)	鉛筆・水彩、紙	島根県立石見美術館
36		シドニー南端	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
37		波	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
38		興津	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
39		山の風景	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
40		小丹波	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
41		白丸	明治29～30年(1896～97)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
42		船のある風景	明治39年(1906)	水彩、紙	島根県立石見美術館
43		静物 林檎	明治42年(1909)	水彩、紙	島根県立石見美術館
44		秋海棠	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
45		雪の山	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
46		雪の山	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
47		絵日記	明治40年(1907)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
48		スケッチブック	明治44年(1911)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
49		絵葉書デザイン画、草花写生画アルバム	制作年不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館

## 新聞掲載

山陰中央新報8月20日 グラントワ通信

## 展示室C 草間彌生

会 期：平成23年10月19日(水)～平成24年2月2日(木)

内 容：現代アートの第一人者として世界的に活躍するアーティスト草間彌生の初期の水彩画、60年代にデザインした衣装、90年代の立体作品を紹介した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
2		HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
3		No.235.Q.2	1953年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
4		18 J	1954年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
5		18 D	1956年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
6		18 Q	1956年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
7		18 M	1957年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
8		18 L	1957年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
9		18 C	1958年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
10		ドレス(草間自身の店のための) 5点	1968年/1998年再制作	綿、彩色あるいはプリント	島根県立石見美術館
11		帽子	1975年	フォトコラージュ、水彩、パステル、紙	島根県立石見美術館
12		ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	島根県立石見美術館
13		シルバースューズ「銀色の希死」より	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	島根県立石見美術館
14		ジェネシス	1993～1994年	詰め物をした縫製布、木、彩色	島根県立石見美術館
15		南瓜	1998年	F.R.P(強化プラスチック)、塩ビ系塗装	島根県立石見美術館

## 新聞掲載

山陰中央新報11月26日 河野 克彦 展覧会紹介

山陰中央新報12月27日 展覧会紹介記事

**(財)独立書人団島根県支部 第33回 益田ブロック書展**

会 期：平成23年6月16日(木)～6月20日(月)  
会 場：展示室D  
主 催：島根県独立書人団益田ブロック

**2011文化を育むinますだ 第30回 益田市美術展**

会 期：平成23年10月6日(木)～10月10日(月)  
会 場：展示室D  
主 催：益田市文化協会、益田市美術展実行委員会

**第43回島根県総合美術展(県展)移動展**

会 期：平成23年12月1日(木)～12月4日(日)  
会 場：展示室D  
主 催：島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体

**全島根小中学校図画作品展 益田展**

会 期：平成24年2月2日(木)～2月5日(日)  
会 場：展示室D  
主 催：島根県造形教育研究会、島根県立石見美術館

## 教育普及活動



活弁ワークショップ 説明の指導を受ける受講者



活弁ワークショップ 発表会



活弁と生演奏のギャラリートーク



名画をいろいろと見る話芸と音楽 チラシ

## 【活弁とミュージアム活性化事業】

当館では平成21年度より「名画をいろいろと見る話芸と音楽」と銘打ち、収蔵作品に楽曲や説明を付け、音楽や説明を聴きながら作品を鑑賞するイベントを継続的に開催してきた。平成23年度からは周辺施設とともに実行委員会を組織し、文化庁の文化芸術振興費補助金(文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業)の助成を受け、「活弁による地域の文化財およびミュージアムの魅力を発信する」事を目的に、従来実施してきた鑑賞イベントに加え、活弁ワークショップも取り入れ、活動を充実させた。実行委員会、及び実施事業は以下の通り。

## 活弁とミュージアム活性化事業実行委員会

島根県立石見美術館、益田市立歴史民俗資料館、益田市立雪舟の郷記念館

## 活弁ワークショップ

無声映画に説明を付けるワークショップ。現役の活動弁士を招き、益田市出身の徳川夢声の紹介や、活弁の実演を聴いたうえで、参加者が短編無声映画の活弁に挑戦した。子供から年配者まで幅広い年代が参加し、益田市外、島根県外からの参加者もあった。継続を求める声も多かった。

日 時：平成24年2月25日(土)、26日(日)

講 師：坂本 頼光(活動写真弁士)

参 加 者：体験ワークショップ参加者9名、発表会見学者14名

会 場：益田公民館・益田市立歴史民俗資料館・島根県立石見美術館

新聞掲載 読売新聞1月31日 ワークショップ開催告知記事

中国新聞2月26日 ワークショップ取材記事

朝日新聞2月26日 ワークショップ取材記事

読売新聞2月27日 ワークショップ取材記事

## 活弁と生演奏のギャラリートーク

「名画をいろいろと見る話芸と音楽vol.3」

活動弁士と音楽家によるギャラリートークの第3弾。コレクション展「もっと見てね。日本画」の出品作品から、6作品を選び、活動弁士と3名の音楽家にパフォーマンスを依頼した。当日は展示室の中で作品を前に活動弁士が説明をし、音楽家が作品にあわせて作曲した曲を演奏した。

日 時：平成24年3月10日(土)15:30開演

出 演：坂本 頼光(活動写真弁士)、鈴木 広志(サクソフォン)、小林 武文(打楽器)、大口 俊輔(ピアノ)

来 場 者：75名

会 場：展示室A

新聞掲載 読売新聞3月7日 イベント告知記事

中国新聞3月11日 イベント取材記事

山陰中央新報3月13日 イベント取材記事

## 【博物館実習】

日 時：平成23年8月22日(月)～8月26日(金)

参 加 者：広島大学(1名)、山口県立大学(1名)

## 【出前講座】

学芸員による「出前講座」を、美術館開館前の平成15年度より実施している。今年度は4回実施した。

## 鹿足郡教育研究会図画・美術研修会

「対話による鑑賞」およびアートカードを用いた鑑賞の授業について

日 時：平成23年10月26日(水)

講 師：南目 美輝、廣田 理紗

参 加 者：鹿足郡教育研究会図画・美術部教員(9名)

会 場：津和野町立日原小学校

「アートカードとワークシートを用いた美術鑑賞授業」

日 時：平成24年2月15日(水)  
 講 師：廣田 理紗  
 参 加 者：益田市立益田東中学校2年生(67名)  
 会 場：益田市立益田東中学校

「アートカードとワークシートを用いた美術鑑賞授業」

日 時：平成24年2月16日(木)  
 講 師：廣田 理紗  
 参 加 者：益田市立鎌手小学校6年生(10名)  
 会 場：益田市立鎌手小学校

「アートカードとワークシートを用いた美術鑑賞授業」

日 時：平成24年3月8日(水)  
 講 師：廣田 理紗  
 参 加 者：浜田市立上府小学校5年生(13名)、4年生(10名)  
 会 場：浜田市立上府小学校



授業受け入れ

【授業受け入れ】

「対話による鑑賞」の方法を取り入れた鑑賞の授業を、本物の作品を前に展示室内で実施した。

日 時：平成24年2月20日(月)  
 授 業 者：和崎 和美(益田市立益田東中学校教諭)、廣田 理紗(当館学芸員、T2として)  
 対 象：益田市立益田東中学校2年生(33名)  
 会 場：展示室D(企画展「mite!ね。しまね」にて)

日 時：平成24年2月22日(水)  
 この授業は益田市教育研究会図工・美術部会の研修として授業公開された。  
 授 業 者：和崎 和美(益田市立益田東中学校教諭)、廣田 理紗(当館学芸員、T2として)  
 対 象：益田市立益田東中学校2年生(34名)  
 会 場：展示室D(企画展「mite!ね。しまね」にて)

【館外での講座・講演など】

「石見の文化力」NPO法人はとぼっぽ 第9回福祉講演会

日 時：平成23年5月15日(金)14:30～  
 講 師：澄川 喜一  
 会 場：いわみ〜る

彫刻論「仏教美術研究と地方美術館の活動」

日 時：平成23年6月15日(水)10:40～12:10  
 講 師：椋木 賢治  
 参 加 者：広島市立大学 芸術学部 美術学科 彫刻専攻 3年生  
 会 場：広島市立大学

「島根の仏教美術」

日 時：平成23年6月8日(水)9:00～10:30  
 講 師：椋木 賢治  
 参 加 者：浄土宗石見教区(26名)  
 会 場：島田家

「日本の仏像②」

日 時：平成23年6月17日(金)13:00～15:00  
 講 師：椋木 賢治  
 参 加 者：シマネスクくまびき学園西部校2年生(14名)  
 会 場：いわみ〜る

講演会

日 時：平成23年7月9日(土)14:00～  
 講 師：澄川 喜一  
 会 場：吉賀町民体育館

**県退職校長会園長会研修会での講演**

日 時：平成23年7月29日(金)9:30～  
 講 師：澄川 喜一  
 会 場：グラントワ スタジオ1

**第50回SF大会一般公開プログラム****「シンポジウム ロボット幼年期の終り」**

日 時：平成23年9月3日(土)13:00～14:30  
 パネリスト：川西 由里(当館主任学芸員)  
                   横井 一仁(産業総合研究所 ヒューマノイド研究グループ長)  
                   竹西 素子(オーム社「ロボコンマガジン」編集長)  
                   園山 隆輔(工業デザイナー)  
                   司会・福地 健太郎(明治大学特任准教授)  
 会 場：静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

**第50回SF大会分科会プログラム 「『ロボットと美術』展の裏側」**

日 時：平成23年9月4日(日)  
 パネリスト：川西 由里(当館主任学芸員)  
                   村上 敬(静岡県立美術館上席学芸員)  
                   工藤 健志(青森県立美術館学芸主幹)  
 会 場：静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

**子ども夢アートアカデミーでの講演**

日 時：平成23年9月12日(月)14:30～  
 講 師：澄川 喜一  
 会 場：東陽中学校

**「島根の文化力」近畿益田会定時総会にて講演**

日 時：平成23年10月22日(土)  
 講 師：澄川 喜一  
 会 場：京都タワーホテル

**「島根の文化力」県退職公務員連盟島根県大会にて講演**

日 時：平成23年10月28日(金)11:00～  
 講 師：澄川 喜一  
 会 場：グラントワ 小ホール

**「スカイツリーの秘密」鹿足更生保護助成会会員研修会での講演**

日 時：平成23年11月27日(日)10:10～  
 講 師：澄川 喜一  
 会 場：吉賀町ふれあい会館

**「森鷗外ゆかりの美術家たち」**

日 時：平成24年1月13日(金)13:00～15:00  
 講 師：川西 由里  
 参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校2年生(14名)  
 会 場：いわみ〜る

**「東京スカイツリーのひみつ」益田商工会議所青年部主催の講演会**

日 時：平成24年1月28日(土)14:30～  
 講 師：澄川 喜一  
 会 場：グラントワ 大ホール

**「日本の仏像①」**

日 時：平成24年2月21日(火)13:00～15:00  
 講 師：椋木 賢治  
 参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校1年生(18名)  
 会 場：いわみ〜る

## ボランティア



ワークショップ参加者をサポートするボランティアスタッフ

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のグラントワ全体のボランティア会の組織は、劇場、イベント企画、美術館、発送、クリーンアップ、生け花、情報の7つの部門からなっている。そのうち美術館ボランティアには「ギャラリートークグループ」と「ワークショップグループ」があり、それぞれ7名のボランティアが登録、活動している。

## 【ギャラリートークボランティア】

コレクション展、特別展の会場で、会期中の土曜日、日曜日、祝日の午前(10:00～12:00)と午後(13:00～15:00)に実施している。当番制ではなく、各自が活動できる日に来館して行っている。ボランティアは展示室で待機して来場者に声をかけ、希望者に対してトークを行う。各展覧会のトーク実施前には、担当学芸員によるギャラリートーク講習を行っている。

## 活動記録

6月9日～9月5日	コレクション展「自然を描く」
6月24日～9月5日	コレクション展「彫りのワザを見る！」
9月7日～10月17日	コレクション展「豪華絢爛!金屏風の世界」
10月19日～2月2日	コレクション展「草間彌生」
1月26日～3月20日	コレクション展「もっと見てね。日本画」

## 【ワークショップボランティア】

美術館で開催するワークショップをはじめとする教育普及事業では、ボランティアスタッフがアシスタントとして事業に関わっている。また、展示に用いる造作物等の制作を行うこともある。

## 活動記録

4月初旬 特別展「内藤廣の赤絹」のための暗幕制作  
インスタレーション会場に設置する暗幕の制作を行った。

8月6日、7日 ワークショップ「あなたもわたしもツイギー」  
企画展「スウィング・ロンドン50's-60's」の関連プログラムとして開催した、ミニスカートを作るワークショップの補助を行った。



## 1. いわみ美術回廊

平成14年4月1日 いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界こども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館（以上7館）

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の諸催し物の情報をPR誌等へ掲載⑤サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品（7館グッズ詰め合わせ）贈呈⑥情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる。

## 2. 萩・益田・津和野美術回廊

平成17年度スタート

参加館：山口県立萩美術館・浦上記念館、萩博物館、益田市立雪舟の郷記念館、津和野町立安野光雅美術館、森鷗外記念館、島根県立石見美術館（以上6館）

活動内容：半券等の提示による相互割引制度

## 3. 「雪舟さん」および「雪舟小僧さん」

年間パスポート「雪舟さん」 2,000円

○加入施設（4施設）

医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発行の日から1年間、上記4施設に何回でも入館・入園可能

購入者に同行する4名までは、団体料金扱いで入館・入園可能

○下記施設には割引料金で入館

・島根県立石見美術館（コレクション展・企画展）、浜田市立石正美術館、浜田市世界こども美術館（館主催の展示のみ）

益田散策チケット「雪舟小僧さん」 1,300円

○加入施設（5施設）

島根県立石見美術館（コレクション展のみ）、医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発売（使用開始）の日から3日間、お一人様

1施設1回に限り有効。

## 4. 割引制度

下記に掲げる乗車券、観覧券等を提示した場合、割引制度が利用可能。

① 石見交通株式会社、中国JRバスが運行する東京からの高速バス往復乗車券

② 石見交通株式会社、阪神電気鉄道が運行する大阪からの高速バス往復乗車券

③ 石見交通株式会社、広島電鉄が運行する広島からの高速バス往復乗車券

④ 大田市以東島根県東部の各JR駅からJR益田駅までの往復乗車券

⑤ 萩・石見空港発着の航空券

⑥ 島根県立石見美術館を除くいわみ美術回廊加盟館の観覧券（半券）

⑦ 山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館の観覧券（半券）

⑧ 島根県いわみ芸術劇場で開催される催し物（当日のみ有効）の有料入場券（半券）

⑨ 提携館が発行する年間パスポート（期限内）

・足立美術館・医光寺・今井美術館・大原美術館・尾道市立美術館・サントリー美術館・津和野町立安野光雅美術館・島根県立古代出雲歴史博物館・島根県立美術館・浜田市世界こども美術館・浜田市立石正美術館・広島県立美術館・広島市現代美術館・ひろしま美術館・益田市立雪舟の郷記念館・益田市立歴史民俗資料館・萬福寺・杜塾美術館・山口県立萩美術館・浦上記念館・山口県立美術館

⑩ 提携カード

・しまねカード（島根県広島事務所）・しまね子育て応援パスポート（島根県少子化対策推進室）・ちゅーピーくらぶ（株式会社中国新聞社）・ドゥブレ（財団法人広島勤労者職業福祉センター）・とっとり子育て応援パスポート（鳥取県子育て支援総室）・やわらぎカード（株式会社オーエムシーカード）・ゆめカード（株式会社ゆめカード）・JAカード（三菱UFJニコス株式会社）・JAF（社団法人日本自動車連盟）・SDカード（自動車安全運転センター）

所蔵作品一覧

日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色 掛幅装	139.4×51.2
池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	1919年	絹本着色 六曲屏風一双	右193.7×394.4 左193.9×396.0
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	143.8×50.8
今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色 六曲屏風一双	各156.0×349.5
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1900年	絹本着色 六曲屏風一双	各154.9×355.4
雲谷 等益	四季山水図	1615～1624年	紙本墨画淡彩 八曲屏風一双	各85.1×354.0
雲谷 等益	山水図	1630年代	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各156.5×359.4
雲谷 等顔	山水人物花鳥図	1600～1618年頃	紙本墨画淡彩 六曲押絵貼屏風一双	各紙121.8×53.3
雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	30.9×57.9
雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩 掛幅装三幅対	各103.3×34.5
雲谷派	耕作図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 六曲屏風一隻	152.2×346.2
榎本 千花俊	揚揚戲	1933年	絹本着色 額装	221.2×173.6
榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色 額装	261.0×207.3
榎本 千花俊	口紅を描く	1935年	絹本着色 掛幅装	139×57
榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	131×42
岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各159.4×363.0
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画 掛幅装双幅	各106.5×50.6
柿内 青葉	池	1933年	絹本着色 掛幅装	128×42
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画 掛幅装	34.2×64.7
狩野 松栄	益田元祥像	1582～1592年頃	絹本着色 掛幅装	108.4×51.7
鎌木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	141.2×50.6
川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色 六曲屏風一隻	152.0×356.0
菊池 華秋	雪晴	1938年	絹本着色 額装	189.8×202.2
菊池 隆志	室内	1934年	紙本着色 額装	146.4×164.4
菊池 隆志	初夏遊園	1928年	絹本着色 額装	206.0×112.8
北野 以悦	春	1931年	絹本着色 額装	191.0×142.0
北野 恒富	むすめ	1925年	紙本着色 額装	190.5×89.0
北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	130.0×50.0
啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	91.0×31.0
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画 掛幅装	95.0×39.2
小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色 額装	197.0×113.0
小早川 清	宵	1936年	絹本着色 額装	216.8×111.7
小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各162.3×358.2
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	31.0×50.6
島崎 柳塙	汐風	明治時代後期	絹本着色 掛幅装	109.0×48.6
周恵	達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.7×28.0
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画 掛幅装	134.8×52.2
曾我 宗丈	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.0×33.0
曾我 二直菴	鷲鷹図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装双幅	各118.0×51.8
曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 掛幅装	27.1×23.6
尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装双幅	各86.9×43.0
竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図	1889年	紙本着色 六曲屏風一双	各155.0×360.0
田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	226.0×174.5
谷 文晁	滝図	1828年	絹本着色 掛幅装双幅	各96.7×35.4
寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色 掛幅装	139.6×70.8
等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩 掛幅装	26.3×33.7
富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色 掛幅装	111.0×42.6
小林 竹洞	湖山清遠図	1834～1837年	絹本墨画 掛幅装	144.2×53.5
小林 竹洞	秋卉鴛鴦図	1831年	絹本着色 掛幅装	128.7×42.4
小林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色 掛幅装	112.8×52.6
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	1928年	紙本着色 六曲屏風一双	各154.4×381.0
西 晴雲	四季花木図	1920～1925年頃	紙本着色 掛幅装四幅対	各167.8×47.3
橋本 明治	莊園	1934年	絹本着色 額装	233.6×142.2
橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色 額装	156.8×221.8
長谷川派	武蔵野図	桃山時代～江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各165.8×367.2
平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	紙本着色 掛幅装双幅	各124.8×59.1
広田 多津	ふたり	1938年	紙本着色 額装	204.6×135.3
不二木 阿古	爽朝	1941年	絹本着色 掛幅装	129×41
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色 額装	102.0×45.2

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末期～大正時代	絹本着色 掛幅装	125×71
松本 楓湖	八岐大蛇図	1909年	絹本着色 掛幅装	150×70
円山 応挙	柿本人麿像	1765年頃	紙本墨画 掛幅装	93.8×28.0
武藤 嘉門	ショーウインドウ	1937年	紙本着色 額装	242.7×546.0
山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色 額装	212.3×197.8
山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色 額装	245×174.5
山田 道安	芦雁図	室町時代末期～桃山時代初期	紙本墨画 掛幅装	各86.6×40.4
山本 栞谷	年中行事図	江戸時代末期	紙本着色 六曲押絵貼屏風一双	各139.0×304.2
山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 掛幅装	106.0×29.6
山本 栞谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩 掛幅装	159.0×50.7
山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	127.6×57.0
横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画 額装	70.0×92.2
不詳	舞踊図	江戸時代初期	紙本金地着色 二曲屏風一隻	149.6×170.0
不詳	人麿図	江戸時代前期～中期	紙本金地着色 六曲屏風一隻	145.0×355.3
不詳	遊女柳橋扇面流図	江戸時代前期	紙本着色 六曲屏風一隻	108.6×343.0

## 油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニヤ、角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニヤ、角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	1894～97年頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	76.0×40.0
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	1925～28年頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小堀 四郎	ブルターニュの男	1930年	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
堂本 尚郎	宇宙I	1978年	アクリル、カンヴァス	200.0×600.0
中尾 彰	川村(冬景)	1923年	油彩、カンヴァス、額装	72.9×91.0
中尾 彰	山麓	1955年	油彩、カンヴァス、額装	73.0×116.5
中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	1903～05年頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	1900～20年頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7
原田 直次郎	男児肖像	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	1908～09年頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	1939年	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	1913～25年頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0
宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	130×96.5
山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
山崎 修二	初冬	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×161.0
山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	残雪のある庭	1938年	油彩、カンヴァス	111.0×144.0
山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	131.0×97.0
山崎 修二	風景(仮題)	1941年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	130.0×80.0
山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	53.0×66.0
山本 鼎	筍	1938年	油彩、カンヴァス	41.2×53.3

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
吉田 博	風景	1911～20年頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	52.2×71.6
和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	53.0×41.0
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルル	1868年	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末～20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2
ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～22年頃	油彩、カンヴァス	
ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	65.0×54.0

## 版画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	39.0×27.0
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	70.0×25.5
永瀬 義郎	折り	1956年	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0
永瀬 義郎	画家	1963年	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	80.3×65.0
宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	9.1×2.0
宮 芳平	ハヶ嶽	1934年	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.4
宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	10.0×12.0
宮 芳平	田舎(三日月)	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポプラと湖	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	枯野	1935年頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	8.8×12.0
ウイーン工房(フレール、リックス他)	「女性の生活」(20点組)	1916年	木版・一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ジャンーエミール・ラブレール	マリー・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	25.0×22.0
ジャンーエミール・ラブレール	ビュット・ショーモン公園風景	1921年	エッチング、紙	20.0×23.0
ジョルジュ・ルパープ	『ポール・ボワレの作品』	1911年	ファッションプレート12枚 エキストラプレート3枚	

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的 テキスタイル・モード』	1925年	ファッションプレート20枚	57.0×38.5
ダゴベルト・ベッヒェ	着衣の少女	不詳	彩色、版画	30.0×22.5
ポール・イリーブ	『ポール・ポワレのドレス』	1908年	ファッションプレート10枚	
ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	31.2×31.3
ロッテ・カルム	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルト・ヴァイン ベルガー	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴベルト・ベッヒェ	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシェク	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1912～25年	冊子69冊、ファッションプレート721枚	
	『モード・エ・マニエル・ド ジュールドワイ』	1912～22年	冊子7冊、ファッションプレート84枚	
	『ジュルナル・ダム・エ・デ モード』	1912～14年	冊子80冊、ファッションプレート188枚	

## 水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
五百城 文哉	富士図	1893～1906年頃	水彩、紙	62.0×94.0
大下 藤次郎	下駄屋の店先	1892年	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	1892年	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	1892年	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	1892年	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	1892年	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	1892年	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	1892年	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	1893年	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	1893年	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	1893年	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	1893年	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	1893年	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	1893年	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	1893年	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	1895年	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	1895年	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・ 28年10月13日	1895年	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・ 28年10月17日	1895年	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・ 28年10月20日	1895年	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	1895年	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	1895年	水彩、紙	13.9×24.1
大下 藤次郎	相州塩川瀑	1895年	水彩、紙	24.4×15.5
大下 藤次郎	八王子河原	1895年	水彩、紙	13.3×18.6

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	荒川	1895年	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	富山	1895年	水彩、紙	14.9×24.2
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	1896年	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	1896年	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.4×32.8
大下 藤次郎	多摩川上流	1896年	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	1896年	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	五重塔	1896年	水彩、紙	31.7×20.8
大下 藤次郎	天真院	1896年	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	三門	1896年	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	1896年	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	1896年	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	1896年	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	1896~1897年頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	29.4×22.4
大下 藤次郎	富士を望む	1897年	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	1897年	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巣鴨の牛小屋	1897年	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷	1897年	水彩、紙	19.8×32.0
大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模(AKIYA SAGAMI)	1897年	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	1897年	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.4×32.5
大下 藤次郎	巣鴨	1897年	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	1897年	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	粟田	1897年	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	1897年	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	1898年	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	1898年	水彩、紙	24.9×38.1
大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、 ニューサウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、 メルボルン	1898年	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	プリズバーン河	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	プリズバーン河	1898年	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	1898年	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	1899年	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	1899年	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	1899年	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年 9月13日・正午・南	1899年	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・ 西方午後5時	1899年	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 11月21日朝 東)	1900年	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 12月5日 西南方)	1900年	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	27.7×38.8
大下 藤次郎	仁王門(山門)	1903~1911年頃	水彩、紙	22.1×33.6

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	ホピー	1903～1911年頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	1903～1911年頃	水彩、紙	22.0×33.3
大下 藤次郎	せせらぎ	1903～1911年頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	1903～1911年頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	1903～1911年頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	1903～1911年頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	1903～1911年頃	水彩、紙	13.1×19.3
大下 藤次郎	湖上の雲	1903～1911年頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	1903～1911年頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	1903～1911年頃	水彩、紙	33.6×23.1
大下 藤次郎	浜辺の松	1903～1911年頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	1904年	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	1904年	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	1904年	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	1904年	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	1904年	水彩、紙	17.6×26.5
大下 藤次郎	早春	1904年	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	1904年	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	1905年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1906年	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	1906年	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	1906年	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	1906年頃	水彩、紙	22.6×32.7
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	1907年	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	1907年	水彩、紙	22.2×33.2
大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	1907年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	1907年頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	1907年頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	1907～1911年頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	1907～1911年頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	1907～1911年頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	1907～1911年頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	1907～1911年頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	1907～1911年頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	1907～1911年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	1908年	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	1908年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	1908年	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	1908年	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	1909年	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	1909年	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	1910年	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	1910年	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	25.9×36.6
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	1911年	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	水彩、紙	21.9×33.1

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	22.2×32.9
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	水彩、紙	13.8×20.2
大下 藤次郎	池	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	32.2×22.2
大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	水彩、紙	14.8×22.1
大下 藤次郎	菊花	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	水彩、紙	22.3×33.0
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	水彩、紙	37.0×25.4
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	9.1×14.4
草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×30.7
草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5
後藤 工志	風景	1912～1929年頃	水彩、紙	15.7×21.7
三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	1926～1945年	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6



## 素描

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	17.6×14.0
大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	1893年	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	1893年	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	1893年	鉛筆・水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	1895年	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	1895年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	京の□居	1896年	鉛筆・水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	1897年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて①(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.3×16.6、9.6×16.8、9.6×17.0
大下 藤次郎	軍艦金剛にて②(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.2×17.3、9.3×15.2、9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.4×16.8、9.4×17.2、9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古安達ヶ原)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×17.0
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古太閤記)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(掃除)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(お茶番)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ(シドニー)	1898年	鉛筆・水彩、紙	
大下 藤次郎	碓永川	1898年	鉛筆・水彩、紙	11.2×17.8
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	1898年	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	渋谷	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	鉛筆・水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	鉛筆・水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	鉛筆・水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	鎌倉	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	二日市	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	1892~1897年頃	鉛筆・水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	37.8×30.5
宮 芳平	樹木	1896年	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	1933年	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はぜのある風景	1928年	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	1932年	鉛筆、紙	25.2×18.4

## 写真

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
森村 泰昌	「美に至る病 女優になった私」(48点組)	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	120.0×95.0
アーヴィン・ブリューメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984年	ダイ・トランスファープリント	各50.8×40.1
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ヴェール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニニ・テイラード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.1×32.8

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イヴニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	22.0×28.4
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー、『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.2
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.7
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、 ニューヨーク州ヨンカース	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティックシ ティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×37.4
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男、ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.4×37.3
パロン・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.4
パロン・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	20.4×30.6
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×20.4
ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	アントワヌ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ディミトリ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ホルスト P. ホルスト	白い袖、パリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーバース・バ ザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
マーティン・ムンカッチ	ルシール・プロコウ 『ハーバース・バザー』 1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	『ハーバース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
メルヴィン・ソコルスキー	デルポーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
リチャード・アヴェドン	ドヴィアマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	58.5×47.3
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.2×12.9

## 工芸

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
阿部 裕幸	根付 明暗	2005年	猪牙	長8.9 幅2.0
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	長9.9
宍戸 濤雲	根付 柿本人麿	2005年	猪牙	長6.0 幅2.1
高木 喜峰	根付 迷い道	2005年	猪牙	長6.0 幅1.8
田中 俊暁	石見根付 おろち	2007年	猪牙	長1.0 幅4.5
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木刻	長6.1
富春	石見根付 鮑に蟹	1795年	象牙	高1.5 幅4.8 奥行3.0
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期	陶器	高7.9 口径11.0 高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	19世紀後半	陶器	高10.0 口径19.5 底径10.3
中村 松間齋	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期	高蒔絵	高7.2 幅6.7 奥行2.8
前田 中	根付 番	2005年	猪牙	長5.1 幅1.8

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	長5.6
和地 一風	根付 月下の祈り	2005年	猪牙・ベッ甲・海松	長9.9 幅1.8
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙刻	長8.3
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製、釉薬	高15.0
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙(刻彫)	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920~21年	鍛金・銀	高5.0 径4.2

## 彫刻

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」より シルバーシューズ	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジュネシス 創世記	1993~94年	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0
草間 彌生	南瓜	1998年	F. R. P(強化プラスチック)、 塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
米原 雲海	仙丹	1910年	木彫	高34.0

## 服飾

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	カフタン、ドレス	1960年代後半~ 1970年代前半	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。同柄の絹シフォンのストール。
森 英恵	イヴニング・ドレス	1960年代後半~ 1970年代前半	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺繍。
森 英恵	イヴニング・コート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のコート。ドレスは、帯地と絹サテン。
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプ・スーツとカフタン。絹サテンのベルト。
森 英恵	イヴニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイヴニング・コート。赤と白の絹サテンのロングドレス。赤い絹サテンのベルト付。
森 英恵	イヴニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	イヴニング・ドレス	1981年	黒い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	イヴニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピース・ドレス。
森 英恵	イヴニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹のワンピース・ドレス。
森 英恵	イヴニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピース・ドレス。
森 英恵	ディ・ドレス	1970年代前半	シルク・シフォンとシルク・サテンに幾何学的な図案をプリント。ワンピース・ドレス。
アリックス・グレ	イヴニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス。細かくたまたまれたプリーツ。
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き。
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	青と白のウール。マンダリン・カラー。茶革のトリミング、折り返しのあるカフス。
アンドレ・クレージュ	イヴニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス。裏地は白い絹。
アンドレ・クレージュ	ディ・アンサンブル	1965~1967年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス。裏地はクリーム色の絹。
アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半~ 1970年	フェイクのエナメル(ビニール製)。丈の短いジャケット、ボディス中央とカフスに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーンのミニスカート。銀色の革製のブーツ。アクセサリとして日本製カメラ(ミノルタ製)。
イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967~1968年	カクテル・ドレスとケープのアンサンブル。ボティスは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のパイエット飾り等で刺繍。スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー。
イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス「夜の音楽」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地。Vネックライン、七分丈のラグラン・スリーブ、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘアー・バンド。
イヴ・サンローラン	イヴニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイヴニング・スーツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イヴニング・ドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材。共布のショール付き。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	イヴニング・ドレス「18世紀スタイル」	1992年	金色の革。ボーンの入ったボティス。皮のスカート。スカートは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金色でプリント。プラットフォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ジャケット、パンツ、シャツ「リパティコレクション」	1994年	グレー、白、赤のタータンのウール。ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのついたパンツ。チェックの綿のシャツ。

作家名	作品名	制作年	材質
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコルセット、パッドの入ったバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのプラット・フォーム・シューズ。
エルザ・スカパレリ	イヴニング・ドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス。ショッキングピンクのアンダードレス。
エルザ・スカパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡。幾何学模様。ホルターネックブラ。
エルザ・スカパレリ	イヴニング・ドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク。衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク)。肩にプラスチック・ジップ。
エルメス	水着	1940～1950年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス。ボーン入り。
ガブリエル・シャネル	イヴニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス。バイアスカット。黒の絹のスリッパ。
ガブリエル・シャネル	イヴニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス。サテン地のリボン。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレス・ドレス。植物のモチーフをビーズ刺繍。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレス・ドレス。襟元にボー飾り。背面にバスル風形状の飾り。共布のストールと靴。
クリスチャン・ディオール	ディ・ドレス	1949年	黒のウール。厚みのある開襟カラー。ジャケットに飾りポケット。巻きスカート。
クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォンのツーピース・ドレス。裏地はピンクの絹オガンザ。内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのコルセット。巻きスカート、シース型のアンダースカート付。
クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地。大きな襟と七分丈のラグラン・スリーブ。後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り。両脇にポケット。背中中央にボックスプリーツ。裏地はグレーの絹。
クリスチャン・ディオール	カクテル・ドレス	1956年	茶の絹タフタ。ウエストにベルト。
クリスチャン・ディオール /イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン。裏地は絹ゴーズ。七分丈のラグラン・スリーブ。幅広の帯風のベルト。ボティスの内側にはチュール地のボーン入りコルセットとガーター。スカートにはチュール地の3段のペチコート。
クリスチャン・ディオール /マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹。裏地は青の絹オガンザ。七分丈スリーブ。左右が不均等なボレロ風ジャケット。
クリスタル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950～1951年	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレスとジャケット。ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート。ジャケットは肩幅の狭いシルエット。ベルト付き。ビーズ付き濃紺の靴。
クリスタル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1961年	クリーム色のシフォン。トラペーズラインのドレス。
クリスタル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホース・ヘアー、銀のスパンコール、人造宝石の刺繍。
クリスタル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのワンピース・ドレス。
クリスタル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコート・ドレス。マンダリンカラー。袖には金色に着色した木製釦。アンダースカート付。
クリスタル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティイ・レースの「ベビー・ドールドレス」。黒の絹のスリッパ・ドレス。
クリスタル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビー・ドール・ドレス」。絹シフォンのアンダードレス付。
クレア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージー。
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969年	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン。
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース。ジャケット、ベスト、ファスナー付きフレア・ボトムのパンツ。
シャルル＝フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツーピース・ドレス。金糸で刺繍の施されたベージュのラム、ボディとスカートに稲妻と雲のデザイン。雲のデザインの薄い青色のトレーン。
ジャン＝フィリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセル・レースを組み合わせたドレス。
ジャンヌ・ランバン	イヴニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピース・ドレス。ボディとスカート上部に金銀のスパンコールなどによる刺繍。
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。袖に白いフェルト地のアップリケ・ワーク。バイアスカット。
ジルベルト・エイドリアン	ディ・ドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール。肩パッド付きのジャケット。スリットのあるタイト・スカート。
スザンヌ・タルボット	イヴニング・コート	1925年頃	黒い絹の繭型コート。椰子の葉と花々を刺繍したテキスタイル。黒の毛皮のトリミング。裏地は黒のベルベット。
ステーンブラザーズ	レセプション・ドレス	1900～1905年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている。S字ライン。
ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にぼかした縞模様プリント「レインボー」。
ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ。
ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919～1920年	絹。チュールにアップリケ。
チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ。スカートにくるみ釦、ファスナー。
ニナ・リッチ	イヴニング・ドレス	1948年	紺と白の絹。開襟カラー。両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット。前面にくるみ釦。クリノリン型のスカート。チュール・ネットの下着付き。
ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット。木製ソールは金色にペイント。

作家名	作品名	制作年	材質
バーバラ・フラニッキー ／ビバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラード・ジャケット、ヒップ・ボーンフレアーパンツ。
バーバラ・フラニッキー ／ビバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニットでできた、テーラードジャケット、ヒップボーンフレアーパンツ。
パコ・ラバヌ	イヴニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス。
ピエール・バルマン	イヴニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地。後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き。チュール地とホースヘアーを6段に重ねたオリジナルのベチコート付き。
ビバ	スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラード・ジャケット、ヒップボーンフレアー・パンツ。
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル。プラスチック製のシダのモチーフのデコレーション。
ポール・ボワレ	イヴニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとプリーツのあるグリーンシフォン地。銀ブレードの縁飾り、バンド部分にペイズリー模様を銀糸やスパンゲルで刺繍。裏地はライム・グリーン絹シフォン。
ポール・ボワレ	ドレス	1920年代後半	シュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のプリーツのあるオーバードレス。前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍。
ポール・ボワレ	「ガーデン・パーティ・ドレス」	1911年	アイボリー色のオーガンジー。ボディとスカート裾に花卉の形をアップリケ、中央のバラはステンシルによるペイント。裏地の裾に黒色の絹ベルベット。
ポール・ボワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地。Aライン、ラグランスリーブ、丸襟、骨のボタン。
ポール・ボワレ	ディ・ドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント。Vネックの襟元、ロウ・ウエスト。
ポール・ボワレ	ディ・ドレス「ブリトンヌ」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム。
ポール・ボワレ	カフタン・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールド・ギルド糸刺繍。袖の縁取りに使われた紐にはタッスル飾り付き。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント。ウエストに二つのポケット。黒の絹の縁。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント。襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン。伸縮性のある袖口。2つのポケット。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント。濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟。袖も青の絹で縁取り。
マドレーヌ・ヴィオネ	ディ・ドレス	1920年頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ボートネック、ラグラン・スリーブ、プリーツスカート。
マドレーヌ・ヴィオネ	ディ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ。ワンピース・ドレス。パイアス・カット。
マドレーヌ・ヴィオネ	イヴニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス。サーキュラー・スカート。ホルター・ネック。黒い絹サテンのアンダー・ドレス付。黒いチュールのストール。
マドレーヌ・ヴィオネ	イヴニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダードレスの2ピース。ピンクのシルク・シフォン地のオーバー・ドレス、シフォンと絹地のアンダー・ドレス。
マリア・モナチ・ガレンガ	ティーガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブ、肩にヴェネツィアンビーズ。ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワーク。
マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク。
マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント。金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング。錆赤のロングタイ。絹のライニング。
マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ。金色のステンシル・ワーク。脇、裾にトンボ玉付き。
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き。
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。
メンバーシェ	イヴニング・ドレス	1940年	黒の絹クレープ。背中に深いVカット。ラグラン・スリーブ。
リバティ商会	コート		青色の絹ベルベット。ライニングは絹のシルバー・ラメ。フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッスル飾り。
リバティ商会	ティーガウン	1908年	ブルーグレーのクレープ。茶がかかったグレーの絹シフォンでトリミング。襟に中国風刺繍。
リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のモチーフのニードルワーク、緑色の絹地のライニング。
ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス、ピキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス、ピキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーンウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンウール。ボタン付きベルト。
ルディ・ガンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡。

作家名	作品名	制作年	材質
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹。シダ植物と花の模様が交差するパターン。襟元と袖に毛皮。袖はカフタン風。裏地はベージュの絹ベルベット。
作者不詳	ペーパー・ドレス「スパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スーパ・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布。
作者不詳	ビーチ・ウェア	1910～1920年代	白色の絹ボンジー。袖無しのボディス、パンツ。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーン・ウール。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール。ジャケット、ジヨッパーズのパンツ。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール。ジャケット、ブルーマー、カラー。ルースなブラウス風のボディス、セーラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー。
作者不詳	水浴着	1905～1910年頃	濃紺のウール。上着、ブルーマー、スカート。
作者不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット。右肩に釦ファスナー。
作者不詳	プレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント。ジャケット、パンツ。
作者不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット。
作者不詳	テニス・ウェア	1926年頃	白色綿。Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ。
作者不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ。
作者不詳	ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク。両端にタッスルの飾り。
作者不詳	イヴニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいプロケード織り。
作者不詳	海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーン・ゴム製。銀色にペイントされた羽根模様。
作者不詳	プレスレット	1930年頃	銀。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。

## テキスタイル

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912～1928年		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913年頃	ステンシル、絹ベルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920年頃	ステンシル、絹ベルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922～1930年代		
ダゴベルト・ベッヒェ	「ヴンダーバウム」	1911～16年	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス＝ウエノ	「クレムリン」	1929年	プリント、絹	74.0×94.0

## テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年	技法、素材
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912～1928年	水彩、紙
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922～1930年代	水彩、紙

## ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904～34年	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901～13年	各35.5×27.0	1～156号合本
『アール・グー・ポージェ』	1922～33年	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924～28年	各32.8×24.4	25冊、欠号あり

## 所蔵作品貸出実績

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
「藤島武二・岡田三郎助」展 そごう美術館 平成23年7月28日～9月4日 三重県立美術館 平成23年9月10日～10月23日 ひろしま美術館 平成23年10月29日～12月11日	岡田三郎助《黒き帯》 藤島武二《西洋婦人》
「ウィーン工房1904-1932 モダニズムの装飾的精神」展 パナソニック汐留ミュージアム 平成23年10月8日～12月20日	ダゴベルト・ベッヒェ《カフタン、テキスタイル「レインボー」》 ダゴベルト・ベッヒェ《ネック・バンド》 ダゴベルト・ベッヒェ《テキスタイル》 ダゴベルト・ベッヒェ《テーブルセンター》 ダゴベルト・ベッヒェ《蓋付きの物入れ》 ダゴベルト・ベッヒェ《ペンダント》 ダゴベルト・ベッヒェ《ブローチ》 ダゴベルト・ベッヒェ《蓋付きの箱》 マックス・スニェク《ドレス、テキスタイル「バイエル」》 マックス・スニェク《ドレス、テキスタイル「エロス」》 マックス・スニェク《ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」》 フェリス(=ウエノ)・リックス《テキスタイル「クレムリン」》 不詳《ネックレス》 不詳《プレスレット》 マリア・リカルツ《バッグ》 マリア・リカルツ《無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)》 マリア・リカルツ《無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)》 『モード・ウィーン』 12点 ウィーン工房『女性の生活』 20点
「没後100年大下藤次郎展 美しき自然、友人―島根県立石見美術館所蔵作品を中心に―」 神戸市立小磯記念美術館 平成23年8月27日～10月10日	大下藤次郎《貸屋の裏口》 大下藤次郎《下駄屋の店先》 大下藤次郎《高田千蔵町》 大下藤次郎《護国寺内》 大下藤次郎《渋谷》 大下藤次郎《南品川》 大下藤次郎《野の道》 大下藤次郎《仁和寺山門》 大下藤次郎《清水寺》 大下藤次郎《小石川》 大下藤次郎《多摩川上流》 大下藤次郎《裸婦》 大下藤次郎《巢鴨の牛小屋》 大下藤次郎《武州向畑》 大下藤次郎《越ヶ谷の春色》 大下藤次郎《相州秋谷》 大下藤次郎《アトリエの画家》 大下藤次郎《宮の下》 大下藤次郎《金剛甲板にて》 大下藤次郎《軍艦金剛にて 酒保》 大下藤次郎《軍艦金剛にて 罰金箱》 大下藤次郎《軍艦金剛にて 将棋》 大下藤次郎《軍艦金剛にて 赤道祭礼ノ寿 その一 お軽道平道行の段》 大下藤次郎《軍艦金剛にて 赤道祭礼ノ寿 その三 お日さまにお月さま》 大下藤次郎《軍艦金剛にて 芝居の内稽古 安達ヶ原 その一》 大下藤次郎《モートン岬、クイーンズランド》 大下藤次郎《プリズバーン河》 大下藤次郎《シドニー》 大下藤次郎《メルボルン港》 大下藤次郎《赤道直下にて》 大下藤次郎《つつじ》 大下藤次郎《峠の木》 大下藤次郎《夏》 大下藤次郎《雲の観察(明治32年9月13日正午・南)》 大下藤次郎《雲の観察(9月下旬・西方午後5時)》 大下藤次郎《雲の観察(明治33年11月21日朝・東)》 大下藤次郎《雲の観察(明治33年12月5日・西南方)》 大下藤次郎《早春》 大下藤次郎《青梅》 大下藤次郎《林間》 大下藤次郎《秋の雲》 大下藤次郎《河原》 大下藤次郎《秋谷の漁村》 大下藤次郎《猪苗代》 大下藤次郎《磐梯山噴火口》 大下藤次郎《檜原湖の秋》

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
	大下藤次郎《多摩川畔》 大下藤次郎《甲州駒ヶ岳》 大下藤次郎《残雪》 大下藤次郎《飯坂》 大下藤次郎《松》 大下藤次郎《松》 大下藤次郎《尾瀬沼の雨》 大下藤次郎《西山峠》 大下藤次郎《小豆島》 大下藤次郎《宍道湖の黄昏》 大下藤次郎《庭の一隅(コスモス)》 大下藤次郎《ポビー》 大下藤次郎《暮景》 大下藤次郎《夕日》 大下藤次郎《朝》 大下藤次郎《水辺風景》
島根県立石見美術館コレクション「ファッションの20世紀」展 島根県立美術館 平成24年3月1日～4月16日	アンドレ・クレージュ《ドレス ブーツ カメラ》 アンドレ・クレージュ《イブニング・ドレス》 ヴィヴィアン・ウエストウッド《イブニング・ドレス「18世紀スタイル」》 エルザ・スカパレリ《イブニング・ドレス》 ガブリエル・シャネル《イブニング・ドレス》 クリストバル・バレンシアガ《ドレス》 クリスチャン・ディオール《ディ・ドレス》 クリスチャン・ディオール《ディナー・ドレス「カラカス」》 クリスチャン・ディオール/イヴ・サンローラン《ディナー・ドレス》 ジャンヌ・ランバン《イブニング・ドレス》 ジャンヌ・ランバン《ドレス》 ジャン＝フィリップ・ウォルト《ウェディング・ドレス》 シャルル＝フレデリック・ウォルト《ボールガウン》 パコ・ラバンヌ《イブニング・ドレス》 ポール・ポワレ《ガーデン・パーティ・ドレス》 ポールポワレ《イブニング・ドレス》 マドレーヌ・ヴィオネ《イブニング・ドレス、スリッパ、ストール》 マリアノ・フォルチュニ《プリーツ・ドレス「デルフォス」》 ルディ・ガンライヒ《水着「モノキニ」》 森英恵《イブニングコート、ショートドレス》 森英恵《ジャンプスーツ、カフタン》 森英恵《イブニングコート、ドレス》 森英恵《カフタン・ドレス》 森英恵《イブニング・ドレス(ネイビーブルー)》 森英恵《イブニング・ドレス「花の白いドレス」》 森英恵《イブニング・ドレス》 森英恵《イブニング・ドレス「赤い蝶のドレス」》 森英恵《イブニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」》 作者不詳《ビーチ・アンサンブル》 作者不詳《テニス・ウェア》



## 入館者数一覧・パスポート会員数一覧

## 1. 入場者数

	グラントワ入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	19,375	3,262	3,536	34	6,832	4,256	1,917	2,069	8,242
5月	32,783	7,669	7,588	99	15,356	3,658	2,728	14,471	20,857
6月	19,978	0	1,278	891	2,169	3,740	4,213	1,876	9,829
7月	26,363	2,693	3,157	240	6,090	8,328	3,828	2,695	14,851
8月	33,279	3,488	3,366	30	6,884	7,659	1,123	1,726	10,508
9月	21,983	1,846	2,881	0	4,727	4,724	1,757	4,988	11,469
10月	30,659	4,311	5,211	1,197	10,719	4,449	3,487	12,618	20,554
11月	30,620	5,447	5,392	0	10,839	9,003	2,013	6,853	17,869
12月	22,397	1,014	1,445	1,080	3,539	4,167	3,951	2,733	10,851
1月	20,689	2,997	3,110	428	6,535	3,181	3,876	2,744	9,801
2月	24,133	1,959	2,268	916	5,143	2,859	3,951	4,684	11,494
3月	24,021	2,377	2,489	156	5,022	3,148	2,060	3,588	8,796
合計	306,280	37,063	41,721	5,071	83,855	59,172	34,904	61,045	155,121

## 2. 観覧者数

	企画展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		個人	割引券	団体・割引	無料券			
4月	146	731	102	291	684	897	338	3,189
5月	465	1,871	249	768	1,905	1,336	1,075	7,669
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	169	533	61	151	433	997	286	2,630
8月	190	1,113	104	247	335	940	559	3,488
9月	113	407	70	78	159	634	385	1,846
10月	108	326	19	117	184	514	3,043	4,311
11月	392	1,123	96	358	1,287	1,331	860	5,447
12月	26	106	17	40	69	539	137	934
1月	105	509	47	141	200	1,356	623	2,981
2月	0	420	0	102	335	777	255	1,889
3月	0	643	0	89	282	1,034	329	2,377
合計	1,714	7,782	765	2,382	5,873	10,355	7,890	36,761

	コレクション展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		別納券	個人	団体・割引	無料券			
4月	146	1	795	255	701	1,117	425	3,440
5月	465	3	1,755	880	1,951	1,456	1,085	7,595
6月	0	76	436	38	201	507	20	1,278
7月	169	4	634	212	664	1,125	349	3,157
8月	190	0	1,003	339	335	940	559	3,366
9月	113	0	635	214	598	913	408	2,881
10月	108	1	564	201	419	853	3,065	5,211
11月	392	4	1,023	384	1,292	1,432	865	5,392
12月	26	29	214	51	32	774	238	1,364
1月	105	0	496	173	227	1,486	623	3,110
2月	0	0	476	101	413	937	341	2,268
3月	0	2	666	102	290	1,098	331	2,489
合計	1,714	120	8,697	2,950	7,123	12,638	8,309	41,551

## 3. 企画展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
ちひろ美術館コレクション世界の絵本をめぐる旅	平成23年4月16日～5月23日	34	10,931
スウィング・ロンドン 50's—60's	平成23年7月9日～9月12日	57	8,027
雪舟花鳥を描く	平成23年10月22日～11月23日	33	9,758
日本のわざと美	平成23年12月17日～平成24年1月23日	29	4,011
mite! ね。しまね	平成24年2月11日～3月26日	39	4,336
合計			37,063

## 4. パスポート会員数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2,125	2,170	2,102	2,106	2,093	2,057	2,039	2,051	2,057	2,052	2,023	1,997

## 収支概要

### ■収支概要

#### (1) 支出予算

単位：千円

センター運営費	24,922
指定管理委託費	315,435
展覧会事業費	39,295
企画展示費	35,594
常設展示費	1,647
特別コレクション展示費	2,054
教育普及費	2,741
教育普及(誘客促進)費	1,827
調査研究費	1,817
情報提供事業費	1,081
美術品保存修復事業費	1,784
地域連携による石見神楽開催事業費	1,235
センター利用促進事業費	1,158
合 計	391,295

※2月補正額

#### (2) 収入実績

単位：千円

企画展	10,740
常設展	2,121
パスポート	4,914
目的外使用料	3,136
合 計	20,911

※図録販売収入など雑入は含まず

## 島根県芸術文化センター条例

平成16年10月12日  
島根県条例第51号島根県芸術文化センター条例をここに公布する。  
島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事及び教育委員会（以下「知事等」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事等が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事等は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則及び教育委員会規則（以下「規則等」という。）で定める書類を添付して、知事等が定める期日までに知事等に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事等は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすものうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則等で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則等で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事等に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事又は教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事等はその指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事若しくは教育委員会は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命じることができる。

2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事又は教育委員会が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事又は教育委員会の権限とする。

3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じて、知事等はその賠償の責めを負わない。

(開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
- (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

(休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日(美術館にあっては、毎週火曜日)
- (2) 12月30日から翌年の1月3日まで

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。

(平17条例39・一部改正)

(利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
- (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
- (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
- (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。

3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)が、次の各号のいずれかに該当するとき、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則等の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。

3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。

4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

(利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前で指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者(次に掲げる者を除く。)は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展(常設展示室における展示をいう。以下同じ。)を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒並びにこれらに準ずる者

## (観覧料の減免)

第21条 教育委員会は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

## (観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

## (指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

## (入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

## (損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

## (秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

## (原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事又は教育委員会の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

## (センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に應ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。
- 3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則等で定める。

## (罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

## 附 則

## (施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

## (準備行為)

- 2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。
- 3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

## (供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。

(知事が別に定める日＝平成17年10月8日)

## (経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

## 附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

別表第1（第3条関係）

1 施設の基準額

(1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 30,640	円 40,860	円 51,070	円 61,290	円 81,720	円 102,150
		土、日曜日 及び休日	36,760	49,030	61,280	73,540	98,060	122,580
	1階席	平日	20,430	27,240	34,050	40,860	54,480	68,100
		土、日曜日 及び休日	24,510	32,680	40,860	49,030	65,370	81,720
小ホール	平日	8,170	10,890	13,620	16,340	21,790	27,240	
	土、日曜日 及び休日	9,800	13,060	16,340	19,600	26,140	32,680	
スタジオ1			4,620	6,160	7,700	9,240	12,320	15,410
スタジオ2			950	1,270	1,590	1,900	2,540	3,180
大ホール大楽屋1			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール大楽屋2			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール中楽屋1			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋2			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋3			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋4			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
大ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール中楽屋1			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール中楽屋2			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
多目的ギャラリー			3,830	5,110	6,390	7,670	10,220	12,780

備考

- 1 入場料その他これに類する料金（以下「入場料」という。）を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額（入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額）の区分に応じた額を加算した額とする。
  - ア 3,000円以下のもの 10割相当額（徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあっては、5割相当額）
  - イ 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額
  - ウ 5,000円を超えるもの 20割相当額
- 2 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 3 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 4 この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。
- 5 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
- 6 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収する場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。

- 7 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（(2)の表において同じ。）。
- 8 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

- 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。
- 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。
- 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。
- 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2（第20条関係）

区分		観覧料の額（1人1回につき）	
		個人の場合	団体（20人以上の場合をいう。）の場合その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

- 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。
- 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3（第20条関係）

区分	年間観覧料（同一人が1年間に常設展又は企画展を観覧する場合の観覧料）の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

## 島根県立石見美術館管理規則

平成16年11月5日  
島根県教育委員会規則第29号

島根県立石見美術館管理規則をここに公布する。  
島根県立石見美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）第29条に基づき、島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の申請に関する書類)

第2条 条例第7条第2項の申請書は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める書類（平17教委規則14・一部改正）

(事業報告書の内容等)

第3条 条例第9条の規則等で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取消された場合は、その取消の日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消の前日までとする。

2 条例第9条の規則等で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し委員会が必要と認める事項

(観覧料の納付)

第4条 観覧料は、前納とする。ただし、委員会が特に認めた場合は、後納とすることができる。

(年間観覧券)

第5条 年間観覧料を支払った者に対しては、年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が、美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する者 観覧料の全額
- (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障害者手帳、療養手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下次項において「障害者」という。） 観覧料の額の全額
- (4) 障害者の付添人（原則として障害者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
- (5) 前各号に掲げるもののほか、委員会が特別の理由があると認める者 委員会が別に定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、委員会の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に規定する者については、この限りでない。

(観覧料の割引制度)

第7条 条例別表第2に規定する教育委員会規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第8条 センター協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。



## 指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名

印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

### 記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

様式第2号（第6条関係）

## 島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

所在地

（団体にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名

申請者

（団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号（自宅及び勤務先）

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

### 記

観覧期日	年 月 日（ ）曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 （ ）		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円× 人＝ 円	%	円
上記を引率する教職員	円× 人＝ 円	%	円
その他の者	円× 人＝ 円	%	円
合計			円

（注） ※印欄は、記載しないでください。

## 施設概要

## ■島根県芸術文化センター（島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場）

[所在地] 島根県益田市有明町5番15号

[設計期間] 2001年4月～2002年7月

[工事期間] 2002年11月～2005年3月

[設計] 内藤廣建築設計事務所

[構造設計] 空間工学研究所

[設備設計] 明野設備研究所

[コンサルタント]

- 設計協力：江角彰宣・みずほ設計
- 舞台機構：シアターワークショップ
- 舞台照明：シアターワークショップ
- 舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所
- サイン：矢萩喜從郎
- 共同監理：島根県益田土木建築事務所

[敷地面積] 36,564.16㎡

[建築面積] 14,068.15㎡

[延床面積] 19,252.45㎡

1階：13,313.01㎡、2階：2,893.78㎡

地下1階：3,045.66㎡

[建蔽率] 38.4%（許容：60%）

[容積率] 52.6%（許容：200%）

[用途] 美術館・劇場

[規模] 地上2階 地下1階

[最高高さ] 32.24m

[構造] RC造、一部PC、S造

[設備]

## ●空調設備、空調方式

ホール・美術館：単一ダクト方式

事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式

レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式

## ●熱源

冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、

空冷ヒートポンプチラー方式

氷製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）

温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、

ボイラー方式

## ●衛生設備

給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式

給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、

その他：局所式（電気温水器）

排水：建物内＝汚・雑排水合流方式

建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）

## ●電気設備

受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線

設備容量：6250kVA

契約電力：1500kVA

予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA

## ●防災設備

消火設備：全館スプリンクラー設備

（ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）

美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備

（ハロンバンク登録）

補助散水栓

排煙：自然排煙、機械式排煙

その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、

非常用照明

昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター

特殊設備：水景設備（中庭）＝オーバーフロー循環方式・

砂濾過方式

[施工]

●建築：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体

●空調：新菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体

●衛生：新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体

●強電：中電工・北陽・山代特別共同企業体

●弱電：栗原工業

●舞台機構：森平舞台機構

●舞台照明：丸茂電機

●舞台音響：ヤマハサウンドテック

●非常用発電：東芝

●エレベーター：東芝エレベーター

●浄化槽：アルファプランニングワーク

●外構：大畑建設・日興建設特別共同企業体

●植栽：田部、大畑建設

●アスファルト舗装：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体

●屋根・外壁石州瓦：

施工＝益田窯業

製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ

瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）

＝シマムラ

●外壁タイル：

施工＝協和タイル

製造＝株式会社 スカラ

●特殊照明：ヤマギワ

## 〔諸室面積一覧〕

## 石見美術館

●展示前室	255.2㎡
●展示室A	388.8㎡
●展示室B	202.5㎡
●展示室C	307.8㎡
●展示室D	1091.5㎡
●美術館ロビー	498.2㎡
●搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
●美術館搬入口	178.6㎡
●収蔵庫1	290.3㎡
●収蔵庫2	189.0㎡
●収蔵庫前室	61.1㎡
●一時保管庫	101.2㎡
●修復室	35.6㎡
●隔離室	22.8㎡
●写真室	99.8㎡
●学芸員室	61.8㎡
●研究資料室	47.7㎡

## 共用・管理部門

●応接室	43.0㎡
●センター長室	22.9㎡
●副センター長室	22.9㎡
●ホール館長室	22.9㎡
●事務室	170.2㎡
●講義室	102.1㎡
●ボランティア室	43.4㎡
●アテンダント控室	20.2㎡
●救護室	7.4㎡
●授乳室	10.3㎡
●AV機械室	23.6㎡
●中央監視室	47.3㎡
●清掃員室	16.8㎡

●回廊	1358.3㎡
●中庭広場	2079.3㎡
●美術館中庭	170.5㎡
●事務中庭	220.5㎡

●多目的ギャラリー	182.4㎡
●ミュージアムショップ	89.0㎡
●レストラン	182.6㎡

## いわみ芸術劇場

## 大ホール

●ホワイエ 1F/2F	1436.5㎡
●客席 1F/2F	1153.3㎡
●舞台	1965.3㎡
●親子室	15.1㎡
●要約筆記室	14.7㎡
●調光操作室	29.8㎡
●音響調整室	24.4㎡
●奈落	138.7㎡
●オーケストラピット	89.9㎡
●客席ワゴン収納庫	197.7㎡

●小楽屋1	19.6㎡
●小楽屋2	19.6㎡
●中楽屋1	31.0㎡
●中楽屋2	30.9㎡
●中楽屋3	32.0㎡
●中楽屋4	32.0㎡
●大楽屋1	73.4㎡
●大楽屋2	74.0㎡
●楽屋サロン	106.7㎡
●主催者控室	10.3㎡
●楽屋中庭	86.6㎡

## 小ホール

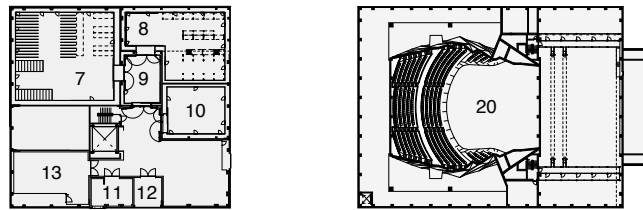
●ホワイエ 1F/2F	478.4㎡
●客席	394.6㎡
●舞台	416.6㎡
●調光操作室	27.3㎡
●音響調整室	26.8㎡
●投映室	12.9㎡

●小楽屋1	16.4㎡
●小楽屋2	16.4㎡
●中楽屋1	27.7㎡
●中楽屋2	27.5㎡
●ラウンジ	74.0㎡
●主催者控室	10.9㎡
●楽屋中庭	174.2㎡

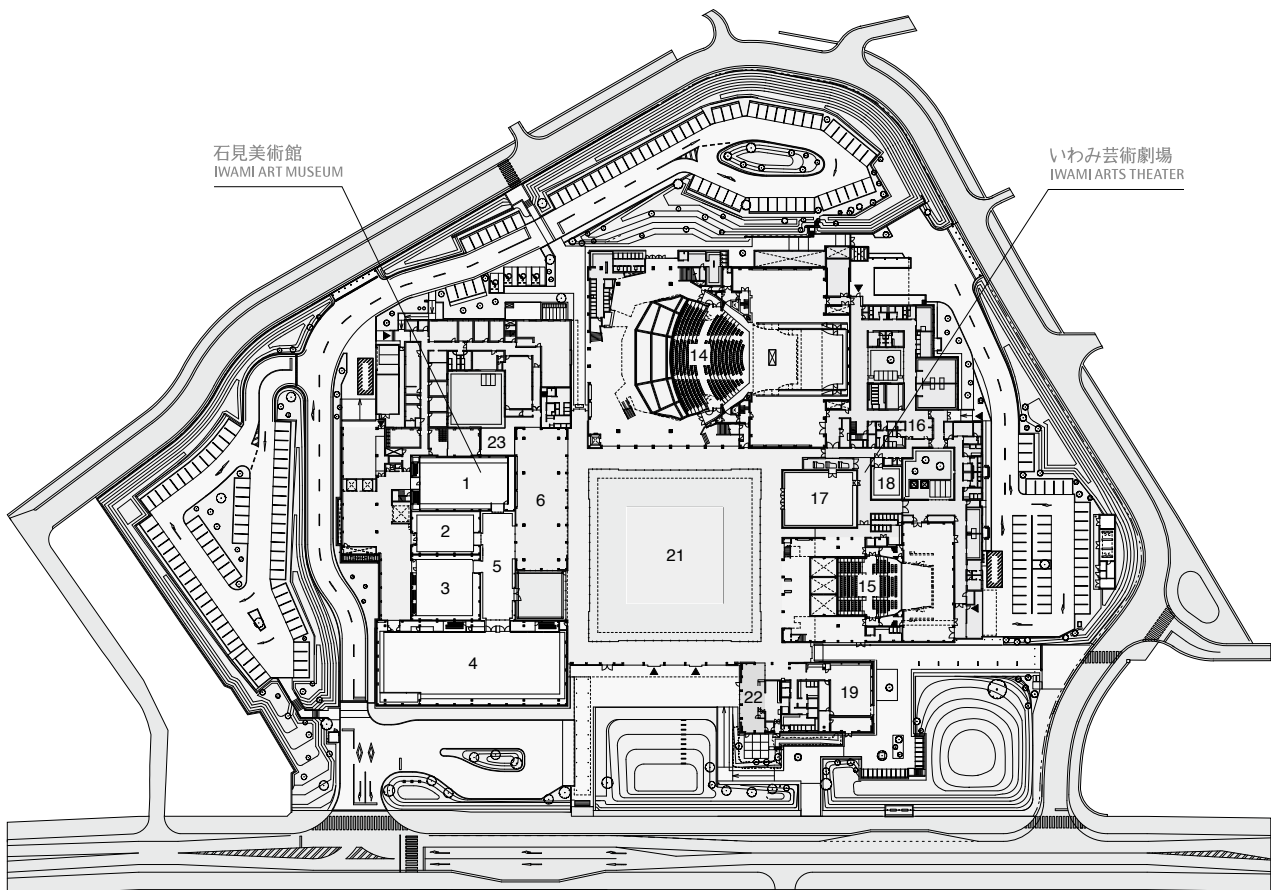
●楽屋ロビー	43.0㎡
●楽屋事務室	15.8㎡

●スタジオ1	256.4㎡
●スタジオ2	70.9㎡
●ピアノ庫	42.4㎡
●スタジオロッカー室 1/2	14.1㎡

2F



1F



石見美術館

- |          |          |
|----------|----------|
| 1:展示室 A  | 8:収蔵庫 2  |
| 2:展示室 B  | 9:収蔵庫前室  |
| 3:展示室 C  | 10:一時保管庫 |
| 4:展示室 D  | 11:修復室   |
| 5:展示前室   | 12:隔離室   |
| 6:美術館ロビー | 13:写真室   |
| 7:収蔵庫 1  |          |

いわみ芸術劇場

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 14:大ホール        | 21:中庭広場       |
| 15:小ホール        | 22:レストラン      |
| 16:楽屋          | 23:ミュージアムショップ |
| 17:スタジオ 1      |               |
| 18:スタジオ 2      |               |
| 19:多目的ギャラリー    |               |
| 20:大ホール 2 F 客席 |               |

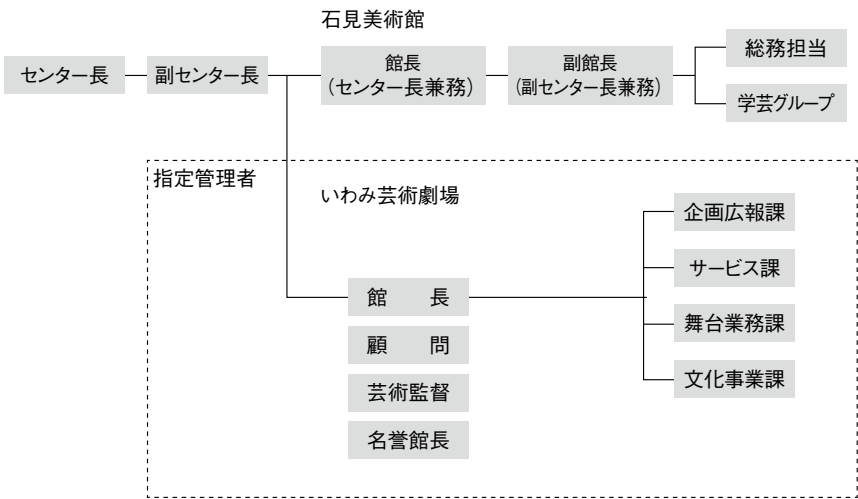
運営組織体制

施設名称

島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

組織体制

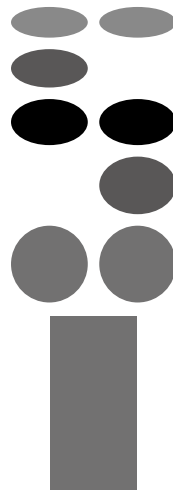
- 島根県芸術文化センター協議会
- 協議会委員(15名)
- 島根県芸術文化センター



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行きも加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホール文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜従郎



利用案内

開館(利用)時間

石見美術館：10:00-18:30(展示室への入場は18:00まで)  
 いわみ芸術劇場：9:00-22:00

休館日

石見美術館：毎週火曜日、年末年始  
 いわみ芸術劇場：毎月第2火曜日及び第4火曜日、年末年始  
 (火曜日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の休日でない日が休館日)  
 ※催しにあわせて休館日を変更する場合があります。

石見美術館観覧料

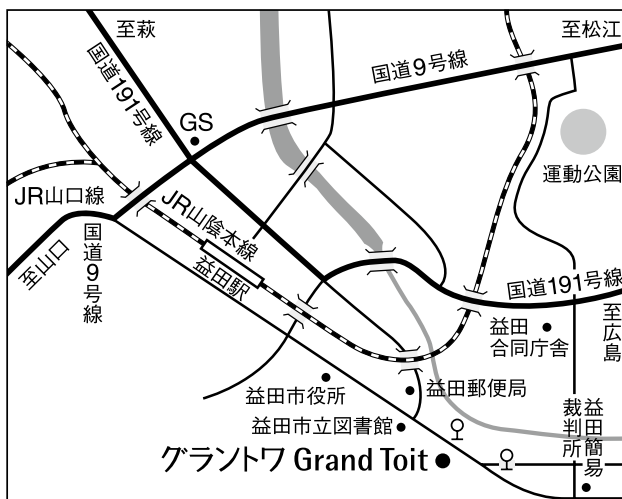
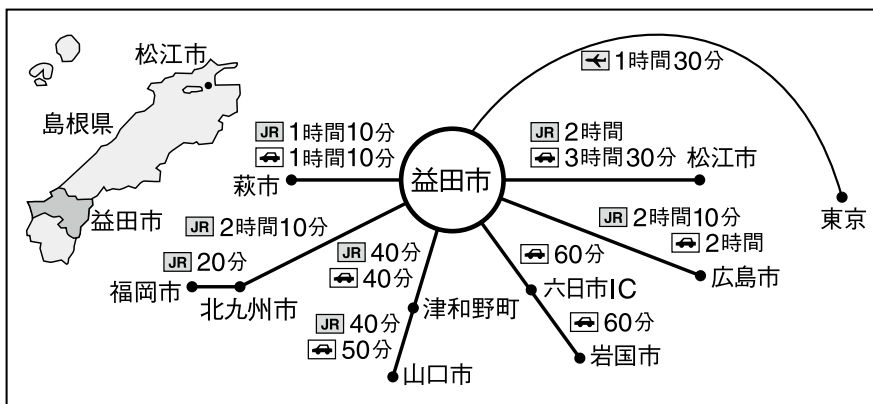
コレクション展：一般300(240)円/大学生200(160)円/高校生以下は無料  
 企画展：一般 1000(800)円/大学生600(450)円/小中高生300(250)円  
 ( )内は20名以上の団体料金  
 ・コレクション展と企画展とを同時に観覧する場合は、コレクション展の観覧料が半額になります。  
 ・中高生(引率者含む)の学校教育活動による観覧は無料。(事前にセンターにご連絡下さい)  
 ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保険手帳をお持ちの方及びその介助者は観覧無料。

いわみ芸術劇場利用料

センターへ直接お問い合わせ下さい。

交通案内

- ・石見交通「グラントワ前」バス停下車(徒歩1分)
- ・JR益田駅から約1km(徒歩15分)
- ・萩・石見空港から約6km(連絡バスJR益田駅まで約15分)
- ・浜田自動車道浜田ICから約40km(自動車約50分)



平成25年3月29日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

E-mail : [zaidan@grandtoit.jp](mailto:zaidan@grandtoit.jp) <http://www.grandtoit.jp>





島根県芸術文化センター  
SHIMANE ARTS CENTER  
石見美術館  
IWAMI ART MUSEUM